

令和 6 年度 小長田団地改修工事（2 棟）

[illegible]

特 記 事 項		(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大匠登録第223559号	工 事 名 称 令和6年度 小長田団地改修工事 (2棟)	図 面 名 称 表紙・図面リスト	縮尺	製図年月日	令和6年度		A-00
	所 長					換 図	作 図		

[illegible]

10. 重量シャッター

機能による種類
・ 管理用 ・ 防火 (・ 外壁用 ・ 屋内用) ・ 防煙
シャッターケース (防火・防煙以外の場合) ・ 設ける ・ 設けない
開閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) 電源 ※ V kw以下 (過電流保護装置付)
・ 上部手動式
耐風圧強度 ・ ()
屋内用防火、防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・ シャッター二段降下方式
落下防止装置 ・ 二重チェーン ・ 急降下制動装置 ・ 急降下停止装置
設置箇所は図示による
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。
(5. 10. 2～4) (表 5. 10. 1)

11. 軽量シャッター

開閉機能による種類
※手動式
・ 上部電動式 (手動併用) 電源※ V kw以下 (過電流保護装置付)
耐風圧強度 ・ ()
スラットの形状 ※インターロックキング形 ・ オーバーラッピング形
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。
(5. 11. 2～4) (表 5. 11. 1)

12. オーバーヘッドドア

セクション材料 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ
・ ファイバークラスタイプ
開閉方式 ※バラン式 ・ チェーン式 ・ 電動式
収納方式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形
ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304)
耐風圧機能 ・ ()
(5. 12. 2)

13. ガラス

建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示 (建具表) による。
ガラス留め材
(5. 13. 2. (2)) (5. 13. 3)

建具の種類	材 種	
アルミニウム製	※シーリング材 (SR-1)	・ グレージングガスケット
鋼製、ステンレス製	※シーリング材 (SR-1)	・ ()
樹脂製	※グレージングガスケット	・ ()

ただし、防火戸は建築基準法に基づく個別認定品とする。

6

1. 既存床の撤去並びに下地補修

2. 接着剤

壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅巾に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジ n - プロピル及びフタル酸ジ 2 - エチルヘキシル等を含有しない親揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()

3. ビニル床シート張り

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()

4. ビニル床タイル張り

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()

材 種	種 類	記号	色柄	厚さ	工法	特殊機能	備 考
ビニル床シート	※発砲層のないもの ・ 発砲層のあるもの	※ F S ・ ()	※無地 ・ 模様	※2. 5 ・ ()	※熱溶接 ・ 突付け	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性	

材 種	種 類	形状	厚さ	色柄
ビニル床タイル	※コンポジションビニル床タイル (半硬質)	※300角 ・ ()	※2	※無地 ・ 模様
	・ コンポジションビニル床タイル (硬質)		・ 3	
	・ ホモジニアスビニル床タイル		・ ()	
	・ 帯電防止ビニル床タイル (置数タイプ)	※500角 ・ ()	※2 ・ ()	
	・ ホモジニアスビニル床タイル (パネル一体タイプ)			

帯電防止ビニル床タイル (置数タイプ) の接着剤は粘着剤離形とし、製造所の指定する製品とする。

・ 防滑性床タイル ※図示による ・ ()

5. ビニル幅巾

材種 ※軟質 ・ 硬質
厚さ ※2 ・ ()
高さ ※60 ・ 75 ・ 100 ・ ()

6. カーペット敷き

織りじゅうたん
(6. 9. 2) (6. 9. 3) (表 6. 9. 1) (表 6. 9. 2)

種別	織り方	パイルの形状	色柄	備 考
・ A種	・ ウィルトン	※カットパイル	※無地	・ 防虫加工品
・ B種	・ ダブルフェース	・ ループパイル	・ 模様	人体帯電圧
※C種	・ アキスミンスター	・ ()	※3kw以下	・ ()

下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) 第2種2号 (厚8)

タフテッドカーベツト (6. 9. 2) (6. 9. 3) (表 6. 9. 2)

パイル形状	パイル長	工 法	備 考
・ カットパイル	※5～7 ・ ()	※全面接着工法	人体帯電圧
・ マルチレベルループ	※4～6 ・ ()	・ グリッパ工法	※3kw以下 ・ ()
・ レベルループパイル	※4 ・ ()		
・ カット、ループ併用	・ ()		

タイルカーベツト (6. 9. 2) (6. 9. 3) (6. 9. 4) (表 6. 9. 2)

種 別	仕 上 げ の 種 類						
※一様	※ループパイル	※500角	※6. 5	※無地	※適用しない		
・ 二様	・ カットパイル	・ ()	・ 模様	・ 10 ² Ω以下			

塗床材

・ エポキシ樹脂系

※薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ (※平滑・防滑)

塗床材

※樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・ 防滑仕上げ

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()

10. 体育館用フローリング張り

樹 種 ・ ()
接着剤 ・ 酢酸ビニル系エマルジョン ・ エポキシ樹脂系
表面塗装 ・ ポリウレタン樹脂塗料3回塗り ・ ()
張り付け ・ 下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と臨天釘で止める
下張り板 ・ 1 2 mm以上 (木製根太) ・ 1 5 mm以上 (鋼製根太)
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()
厚さ ・ 幅 ・

11. 畳敷き

※別添工事特記仕様書による (表 6. 12. 1)

6	12. せっこうボード その他ボード 及び合板張り	(6. 13. 2) (6. 13. 3)				
		材 種	種 別	張り 方	厚 さ	備 考
		・ せっこうボード		・ 下地張り ・ 上張り	・ 9. 5 ・ 12. 5 ・ 15	
		・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 直張り	※突付け	寸法 ※450×910 ・ 910×910
			・ 木目模様 (裏模付)	・ 直張り	※目通し	※9. 5 専用軽鉄 下地材付き
		・ 無石綿けい酸カルシウム板	・ 模質木毛むク板	・ 打込み		※6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ ()
			・ 普通木毛むク板	・ 張付け		
				・ 敷込み		
		・ 木質むク板		・ 目通し	・ 20	※25 ・ 30
				・ 目通し		
		・ 繊維板	・ パーティクルボード			
		・ 天然木化粧合板				・ 福岡県産材
		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()				
		遮音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・ ジョイントコンパウント				

		材 種	表 面 の 品 質	厚 さ	工 法
		・ 普通合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ※ラワン程度 ・ () 不透明塗料塗りの場合 ※しな程度 ・ ()	・ 5. 5 ・ 9 ・ 12 ・ 5. 5 ・ 9 ・ 12	※A種 ・ B種
		・ 天然木化粧合板	・ ()	・ ()	
		壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()			
		パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()			
		壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()			

		施工箇所	品質	程度	防火性能の種類
					・ 1級 ・ 2級 ・ ()
					・ 1級 ・ 2級 ・ ()
					・ 1級 ・ 2級 ・ ()
					・ 1級 ・ 2級 ・ ()
					・ 1級 ・ 2級 ・ ()

		素地ごしらえの種類	
		モルタル及びプラスター一面	・ A種 ※B種
		せっこうボード面	・ A種 ※B種

		施工業者 ※内装専門業者とする ・ ()	
		施工箇所	形状・寸法
			きじの質
			I類 II類 III類
			無ゆう 無ゆう 有
			役物 標準 特注
			色 見本
			焼き
			備考

		・ 打込み断熱材	「19. 9. 2」		
		材 種	種 類	厚 さ	
		※押出ポリスチレンフォーム	※2種b-A ・ () ・ 3種b-A (接地部分)	・ 25	・ ()
		断熱材			
		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 2種 () 号 ・ ()	・ ()	
		ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ()			
		※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所			
		・ ()			
		・ 現場発泡断熱材 (吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材)			
		「19. 9. 3」			
		燃焼性	※3級 ・ 2級		
		厚 さ	・ 25	・ ()	
		施工箇所 ※窓回り等の断熱補修部分			

		材 種	品質・規格	厚さ
		・ ロックウール吸音材	ロックウール吸音ボード1号 (60K)	・ 25
		断熱材		・ ()
		・ グラスウール吸音材	グラスウール吸音ボード2号32K	※25
			グラスクロス (JIS R3414) 縦線張	
		ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード (910×1820) の取付け工法		
		ポリプロピレン及びプラスチックファスナー留め 4本/㎡程度以上		

		畳下地	厚さ	※40 ・ 65 ・ 80
		フローリング類	厚さ	※80 ・ 95

6	1. ステンレスの表面仕上げ	「14. 2. 1」	
		種類	施工箇所
		※ヘアライン程度	・ 下記以外の見え掛かり全て
		・ No. 2B程度	
		・ 鏡面仕上げ	
		・ ()	
		種類	施工箇所
		・ BB-1種	無着色
		・ BB-2種	・ プラッキ系 ・ グラキ ・ ステンター
		・ ()	
		種類	施工箇所
		・ 垂鉛めっきの種類	備考
		・ 溶融 ・ A種 ・ B種 ・ C種	JIS H 8641
		・ 電気 ・ D種 ・ E種 ・ F種	JIS A 8610
		「14. 2. 3」 「表14. 2. 2」	
		野縁等の種類	
		屋内 ※1 9形 ・ 2 5形 ・ ()	(6. 6. 2) (表 6. 6. 1)
		屋外 ・ 1 9形 ・ ()	
		屋外における野縁等の間隔 ()	(6. 6. 3)
		スタッド、ランナーの種類	(6. 7. 3) (表 6. 7. 1)
		※「改修様式」表6. 7. 1による ・ 図示による	
	2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理		
	3. 鉄鋼の亜鉛メッキ		
	4. 軽量鉄骨天井下地		
	5. 軽量鉄骨壁下地		

6. 金属成形板張り	「14-6. 2」				
	材種	製法	材種	寸法 (mm)	厚 (mm)
	・ スパンドル系	・ 押出し	※ 7A21M		
	・ ロール	・ ()			
	・ パネル系	※プレス			
	伸縮調整継手 ・ 設ける ・ 設けない				
7. 手すり及びタラップ	「14. 8. 2」 「14. 8. 3」				
	種類	材料の種類	表面処理		
	・ 手すり	※ステンレスSUS304	※ HL程度 ・ 鏡面仕上げ	・ ()	
	・ 鉄		垂鉛めっき 外部 ※C種		
			内部 ※E種		
	・ タラップ	※ステンレスSUS304	※ 研磨なし		
		・ 鉄	垂鉛めっき 内外部 ※C種	・ ()	
6	1. フリーアクセスフロア	「20. 2. 2」			
		施工箇所	構 法	寸 法 (mm)	高 さ (mm)
		・ パネル構法	・ 500×500		
					耐震性能
					・ 1. 06
					・ 3. 000N
					・ 0. 66
					・ 5. 000N
					・ 帯電防止床タイル
					・ タイルカーベツト
		帯電防止性能 (U値) ・ 0. 6 ・ 1. 2			
		感電防止性能 (漏えい抵抗 R ≥ 1 × 10 ⁶ Ω			
		構成材の材質 ・ アルミニウム ・ 鋼製 ・ ()			
		製造所 () 同等以上			
		構造形式	パネル部の総厚さ	表面材種 (厚さ)	仕上げ
		※パネル式	・ () 以上	※鋼板 ・ ()	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂
		・ スタッド式		※0. 6 ・ ()	・ 焼き付け
		・ スタッドパネル式		・ ()	・ ()
		品質JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの			
		表面板	仕上げ	パネル厚	遮音性
		・ 鋼板	・ 焼付け	※60 ・ 80 ・ 100	・ 一般タイプ
		・ ()	・ ()	・ ()	・ 遮音タイプ
		製造所 () 同等以上			
		仕様			
		パネル部	・ 樹脂樹脂系化粧板 ・ 樹脂樹脂系化粧板	・ ()	
		材 質	・ アルミ製 ・ ステンレス製	・ ()	
		附属金物	※ステンレス製 ・ ()		
		足形状	※幅巾型 ・ 足金物型		
		形 式	・ 丁番吊 ・ 中心吊		
		・ 金属製	材 種	※ステンレス製 (SUS304)	・ 真鍮製
		形 式	※パネルタイプ又は合成ゴムタイヤ入り ・ タイヤなし		
		幅	※35 ・ ()		
		取 付	※接着工法 ・ ()		
		・ 磁器製	幅	※60 ・ ()	
		材 種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所
		※集成材	※クリアラッカー	・ 60 ・ 45	
		・ ステンレスパイプ	・ HL		
		・ 鋼製パイプ	・ EP-G		
		・ ビニル製			
		床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。 ※ステンレス製6×12 ・ ステンレス製4×12 ・ 黄銅製4×12			
		※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する。			
		※図示による			
		縁	※なし ・ あり ()		
		ガラス厚	※5 mm ・ ()		
		※図示による			
		下記による			

No. 1
平成31年度改訂（H31.4）

I工事項要

①工事概要

1. 工事名称 令和6年度　小長田団地改修工事（2棟）

2. 工事場所 福岡県京都市都みやこ町勝山黒田（小長田団地内）

3. 工事概要 外壁改修、屋上防水

4. 別途工事

5. その他

IIアスベスト含有建材除去等工事仕様

1. 標準仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成28年版）及び同上監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（平成28年版）による。

2. 特記仕様

○項目は番号に○印のついたものを適用する。
●特記事項は○印のついたものを適用する。
△印のつない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と△印のついた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の()内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。

4) 形状寸法の単位は特記なきがぎり、ミリメートルとする。

章項目特記事項

①一般事項

(a)適用範囲 アスベスト含有吹付け材、アスベスト含有保温材等（アスベストを含有する保温材料、耐火断熱材をいう。）及びアスベスト含有成形品の処理工事に適用する。

(b)基本要件品質アスベスト含有建材は、安全にかつ完全に除去すること。

(c)法令等の遵守関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。

(d)仕上げ工事 アスベスト含有建材除去後の機能回復のための仕上げ工事については、下記による。 ・()

※図示による ・()

②適用基準等

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
・建築改修工事監理指針
・建築工事安全施工技術指針
・建設工事公衆災害防止対策要綱
・建設副産物適正処理推進要綱
・建設廃棄物処理指針
・解体工事安全施工指針
・石綿粉じんへのばく露防止マニュアル
・建築物の解体に係る石綿飛散防止対策マニユアル環境省大気保全局
・石綿障害予防規則
・特定化学物質等有害害予防規則
・労働安全衛生法

国土地交通省
国土地交通省
国土地交通省
国土地交通省
厚生労働省生活衛生局
建設業労働災害防協会
建設業労働災害防協会
厚生労働省労働基奉局
建設業労働災害防協会
厚生労働省労働基奉局
厚生労働省労働基奉局
厚生労働省労働基奉局

③質疑に対する協議

工事施工について質疑があるときは、監督員と協議することとする。

なお、除去処理工事に際し、本仕様書に記載な事項が生じた場合は「建築物の解体に係る石綿飛散防止対策マニュアル」及び「既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説」（日本建築センター）・「公共建築改修工事標準仕様書」に拠ること。（I.3.7）

④図書間優先順位

すべての設計図書は、相互に補完するものとする。（I.1.1）
ただし、設計図書間に相違がある場合、設計図書の優先順位は、次の（１）から（４）の順番のとおりとする。
（１）現場説明書及び現場説明に対する質疑回答書
（２）特記仕様書
（３）図面
（４）公共建築工事標準仕様書（以下「標仕」という。）及び公共建築改修工事標準仕様書（以下「改修標仕」という。）

⑤施工中の安全確保及び環境保全

建築基準法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、労働安全衛生法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法その他関係法令等によるほか、建設工事公衆災害防止対策要綱及び建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工に伴う災害の防止及び環境の保全に努める。また、工事に伴い発生する廃棄物は選別を行い、リサイクル等再資源化に努める。（I.3.7）

環境への配慮について

「国よる環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」により、環境負荷の低減できる材料を選定すること。
指定品目、判断基準は「福岡県環境物品等調達方針」によること。

排出ガス対策型建設機械

「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。
（対象機種：バックホウ、ブルドーザ、トラクターショベル（車輪式）、空気圧縮機（可設式）、油圧ユニット（油圧ハム・フーサグ）油圧式掘管圧入引抜機、油圧式杭圧入引抜機、フーサグ・オタークンガ掘削機、リパシタキレソヨダリハ、フーズリハ、地下連続壁施工機、全回転エンジン駆動機の基礎工事用機械のうち、ベスマシンとは別に独立したディーゼルエンジンを搭載した油圧ユニットを搭載しているものの、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクリーン、発電電動機（可設式（海陸兼用機を含む））但し、以上はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260KW以下）を搭載したものに限る。」

過積載の防止

ダンストラック等による工事用資機材等の超過積載を行わないこと。さし枠の設置等は又物品積載装置の不正確改造をしたダンストラックは工事現場内に出入りさせないこと。

原形復旧

工事に際し、取合部その他本工事範圍外の部分に汚損が生じた場合、または障害物を移設・切りまわしを行った場合は、原形で復元する。

工事写真等

箇所及び方法については、監督員の指示による。

区分分類規格版数原版の大きさ備考

※着工前※カラー※サービス版※1部※24×36以上又はデジタル画像監督員の承諾する撮影者

※施工程中※カラー※サービス版※1部※24×36以上又はデジタル画像監督員の承諾する撮影者

・ビデオ※VHS※1部特に地下構造物撤去部分

※完成時※カラー※サービス版※1部※24×36以上監督員の承諾する専門業者

※モノクロ

種類及び記入内容

※「標仕」表I.8.11による ・()

(I.8.1)

9. 完成図

⑩工事実績情報の登録（工事カルテ）

請負者は、工事請負額が５０万円以上の工事について、受注時は契約後１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から１０日以内に、 completion時は completion後１０日以内に、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、「建設情報実績」を作成し、建築都府総務課契約室の確認を受けた後に、（一財）日本建設情報総合センターに提出しなければならない。また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」の写しを建築都府総務課契約室に提出しなければならない。（I.1.4）
問い合わせ先 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-11-28博多シティビルⅥF（一財）日本建設情報総合センター九州地方支店 TEL 092-411-3664 FAX 092-411-3486

⑪保全に関する資料

「標仕」I.7.3(a)の他、下記について必要事項を記入のうえ監督員に提出する。
建設大臣官房官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」 （I.7.3）
提出部数 ※1部 ・()部

⑫図面ファイルシステム の登録

請負者は、completion時に completion図を泉の指定する図面ファイリングシステムの記録方式及び記録媒体に登録して提出する。
提出部数 ※1部 ・()部

⑬竣工後の調査

竣工後（※2・1年）以内に当該工事範圍に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。

1. 監督員事務所

※図ける () m程度 ・図けない (2.3.1)
備品については監督員の指示による。

2. 工事用水

構内既存の施設 ・利用できる（※有償） ・無償※利用できない

3. 工事用電力

構内既存の施設 ・利用できる（※有償） ・無償※利用できない

4. 総合仮設計画書

※要する ・要しない

5. 工事車両の出入口

工事車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。
交通安全誘導 ※配置する (名以上)配置しない

①アスベストの調査

◎調査済み

○アスベスト含有吹付け材の有無 ・無 ○有
・アスベスト含有保温材の有無 仕上塗材3層中3層目（表層から3層目）
・アスベスト含有成形品の有無
○（アスベスト含有場所）
外壁、軒裏、階段室内壁・天井、べらナノ内壁、天井
近隣への工事説明会 ・行う ○行わない

建設副産物の処理について

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所に集積すること。
また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所（他業者の分別したものを含む）を設置するとともに、再生資源の利用促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
工事に際しては、工事着手前に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書を等て、工事竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利活用実施書等を提出すること。
指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの） その他の副産物
・がれき類 ・腐プラスチック
（コンクリート塊） ・ガラス、陶磁器くず
（アスファルト塊） ・破石こうボード
・木くず ・金属くず
・建設発土 ・繊維くず
・汚泥
特別管理産業廃棄物
◎焼石綿等
「建築物の解体に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」及び、「石綿障害予防規則（平成17年7月1日施行）」に従い、収集、運搬、処分を行う。
※参考考慮事項は現場説明書による

②工事説明会

近隣への工事説明会 ・行う ○行わない

③発生材の処理

④作業記録

工事施工者は、下記の通り作業の記録等を保存すること。
ア．石綿障害予防規則に基づく「作業の記録」は、次の内容を記録し、40年間保管すること。
・従事者の氏名
・従事した作業の概略及び当該作業に従事した期間
・アスベストにより、著しく汚染された事態が生じたときは、その概略及び工事請負者が講じた応急処置の概要
イ．石綿障害予防規則に基づく「特殊健康診断の記録」は40年間保管すること。
ウ．じん肺法に基づく、じん肺健康診断を実施した場合は、その記録を保存すること。
エ．塵入れ時等にアスベストに関する教育を行い、その記録を保存すること。

⑤現場代理人

現場代理人とは、工事請負規約中に規定する現場代理人という。

⑥作業管理者

石綿作業主任者の資格を有する作業管理者とする。

⑦除去処理作業管理者の選任

工事請負者は、除去作業管理者を選任し、除去工事現場に常駐させること。
除去作業管理者は、除去作業全般を統括すること。

⑧除去処理作業従事者の資格

除去作業従事者は、下記の上げ事前教育及び健康診断を受けた者で工事請負者の発行する作業手帳を有し、除去作業管理者の指示を受け作業を行うこと。

科題目配時間

石綿等の性質石綿の種類、石綿による疾病の病状及び症状0.5時間

石綿等の使用状況石綿を含有する製品の種類の及用途、事前調査の方法1時間

石綿等の粉じんの除散を抑制するための措置作場内の隔離の方法、その他石綿等の粉じんの除散をめめ措置1時間

保護器具の使用状況保護具の種類、性能、使用方法及び注意事項1時間

その他石綿等のかく霧の防止に関し必要な事項労働安全衛生法（昭和47年法律57号）、労働安全衛生法施工令（昭和47年政令第318号）、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）及び石綿障害予防規則中の関係条項、石綿等による健康被害を防止するための当該関係条項、石綿等による健康被害を防止するための当該業務に付いて必要な事項1時間

⑨安全対策及び協議

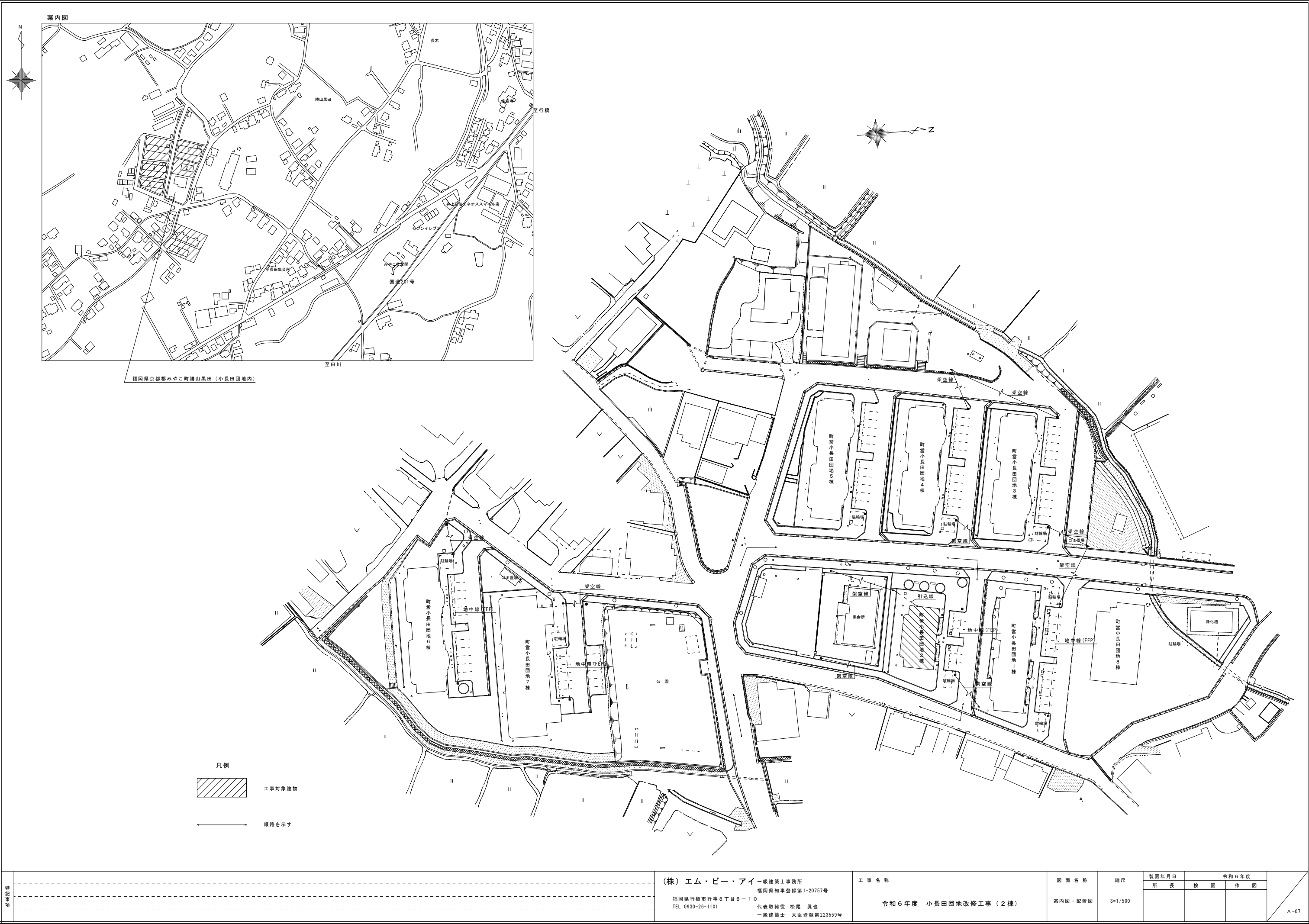
安全衛生に関する管理者は、現場代理人が選任者になり、関係法令等に従ってこれを行う。また着工に先立って工期、工事方法及び安全の為の入禁止区域の設定等について当該施設関係者、監督員と十分に協議し施工計面に盛り込むこと。

⑩温度の測定

除去作業に従事する作業者は事前に、一般健康診断（石綿を取り扱う場合は6ヶ月ごと）・じん肺健康診断・アスベストに関する特化則による健康診断の実施については、下記の記載の場合は除くことができる。
ア．じん肺健康診断
・除去処理作業に従事する期間において、3年以内に診断を実施した者とする。
イ．石綿障害予防規則による健康診断
・除去処理作業に従事する期間において、6ヶ月ごとに診断を実施した者とする。

⑪施工調査等

施工調査等は、特記による。特記があれば、次に由る。
(i) 処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査等を次の事項について行う。
調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
① アスベスト含有吹付け材使役部位の位稜
② アスベスト含有吹付け材厚の厚さの確認
③ 施工範圍と工事管理区分の確認
④ 更衣施設等の仮設計画
⑤ 廃棄物などの搬出方法
(ii) アスベスト

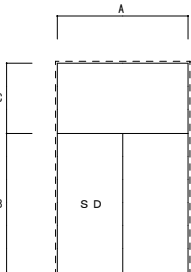
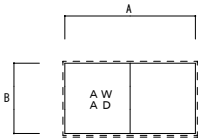


建物概要	2 棟
構造・階数	鉄筋コンクリート壁式構造・3 階
建築面積	176.66m ²
延床面積	487.74m ²

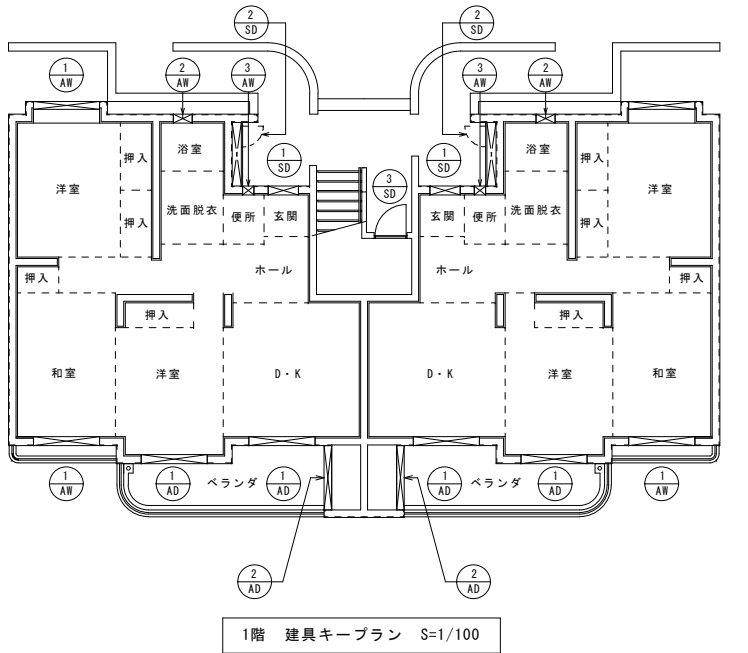
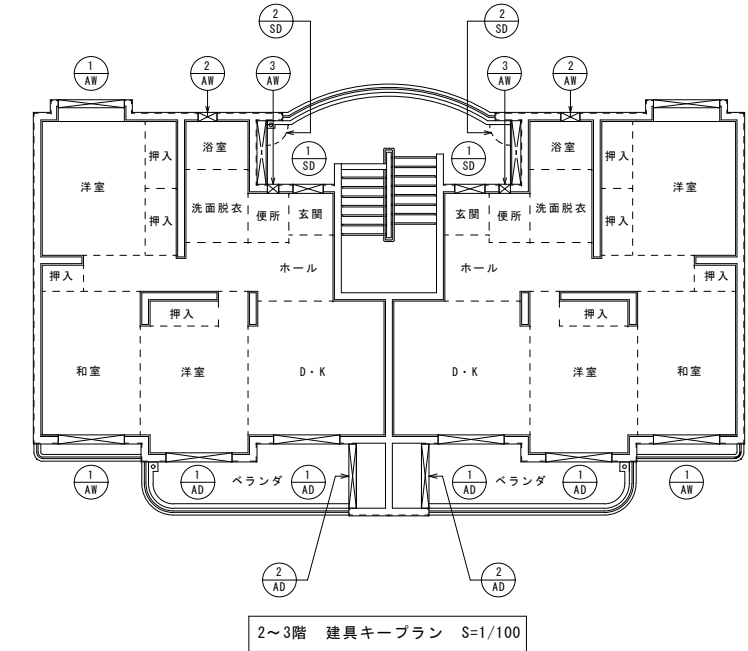
外部仕上表			
種別		改修前	符号
屋根		改修前	
		洋瓦葺き	GR
バランツ	笠木	防水モルタル金網仕上	X2
	立上り	防水モルタル金網仕上	X2
	排水溝(平場・立上)	防水モルタル金網仕上	X2
軒裏		コンクリート化粧打放し吹付タイル仕上げ ※7スレ ^ス も含む	W2
		水洗いの上 軒天塗装用仕上塗材〔つや有合成樹脂エマルジョンペイント〕	
外壁	壁	コンクリート化粧打放し吹付タイル仕上げ ※7スレ ^ス も含む	W1
	巾木	モルタル金網仕上げ	Z
	目地	シーリング	C2
タチ		モルタル仕上げ	Z
	犬走り	モルタル毛引き	Z
建具	7スレ ^ス サッシ		Z・C1
	窓面台	7スレ ^ス 製	Z・C1
	面格子	7スレ ^ス 製	Y
	鋼製ドア		DP
礎	壁礎	VP100(タタ)	T1
		VP75(タタ)	T1
棟番号棟	軒礎	塩ビ製箱礎 前高165	T2
		ステンレス製 1,000×450(両妻)	Y
金物	アンチスト	亜鉛メッキ鋼管φ33	Z
	受金物	亜鉛メッキバンド	Z
階段室	屋根	防水モルタル金網仕上げ	X2
	スラ ^下	コンクリート化粧打放し吹付タイル仕上げ ※7スレ ^ス も含む	W2
	壁	コンクリート化粧打放し吹付タイル仕上げ ※7スレ ^ス も含む	W1
	壁	タイル版EP仕上げ	DP
	巾木	H=100 化粧目地切	Z
	踏面	防水モルタル金網の上防滑仕上げ(木履)	Z
	蹴上	防水モルタル金網仕上げ	Z
	踏場	防水モルタル金網の上防滑仕上げ(木履)目地切り	Z
	段鼻	ノンスリップタイル W=60	Z
	金物	ステンレス製ラック	Z
		ステンレス製マホ ^ス 蓋(鍵付)	Z
		ステンレス製手摺	Z
		ステンレス製持掲示板	Y
		集合郵便受け(6戸用)	Y
		スイッチ・ファンクツプレート	Z
	排水溝(平場・立上)	防水モルタル W=100	Z
消火器表示板	塩ビ製		▼
	目地	シーリング	C4
			C5
バランツ	屋根	防水モルタル金網仕上げ	X1
	スラ ^下	コンクリート化粧打放し吹付タイル仕上げ ※7スレ ^ス も含む	W2
	壁	コンクリート化粧打放し吹付タイル仕上げ ※7スレ ^ス も含む	W1
	巾木	H=100 化粧目地切	X2
	床	防水モルタル仕上げ(木履)目地切り	X2
	金物	7スレ ^ス 製物干し金物(固定式)	Y
		7スレ ^ス 製手摺(1Fのみ厚付)	Z
		ステンレス製手摺	Z
		2・3Fステンレス製避難ハッチ	Z
	排水溝(平場・立上)	防水モルタル W=100	X2
その他	ルーフドレイン		RD
	バ ^ス コ ^ン ド ^レ イン		DT
	天井換気孔	塩ビ製	Z
		ステンレス製フード	Z
	バ ^ン ド ^レ ター	鋼製	DP
		塩ビ製	Z
	バ ^ン ド ^キ ャップ	塩ビ製	Z
	空調室外機		Z
	衛星アンテナ(GS・BS)		Sa
	設備ダクト	ステンレス製	Z
		銅板製	DP
	ガス配管(SGP)	亜鉛メッキ	DP
	照明器具	壁掛け	
		天井直付け	
電気設備	防水型コンセント・防水型7スレ ^ス レット		Z
	塩ビ製		DP
	設備受け金物	亜鉛メッキ	DP
		ステンレス製金物	Z
備考			
特記なき限り下記の通り。			
※建具周囲は全てシーリング打替とする。			
※鉄部は全てDP塗装替えとする。			
※7スレ ^ス ・ステンレス以外の外部設備配管、収納画は全てDP塗装替えとする。			
※吹付タイル仕上げ塗材が付着しているシーリング材等を除去した物は7スレ ^ス も含含有材として処分すること。			

2棟 建具リスト

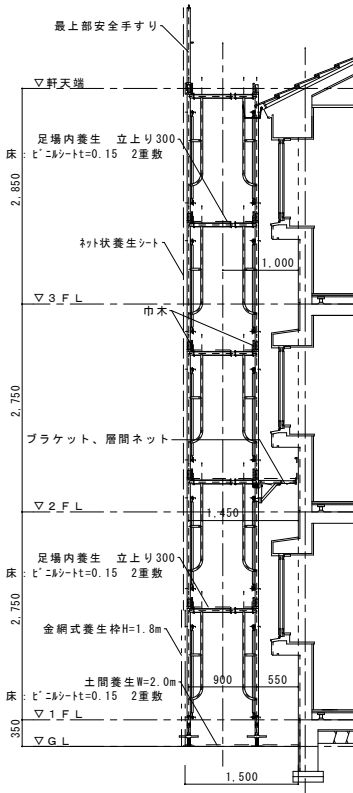
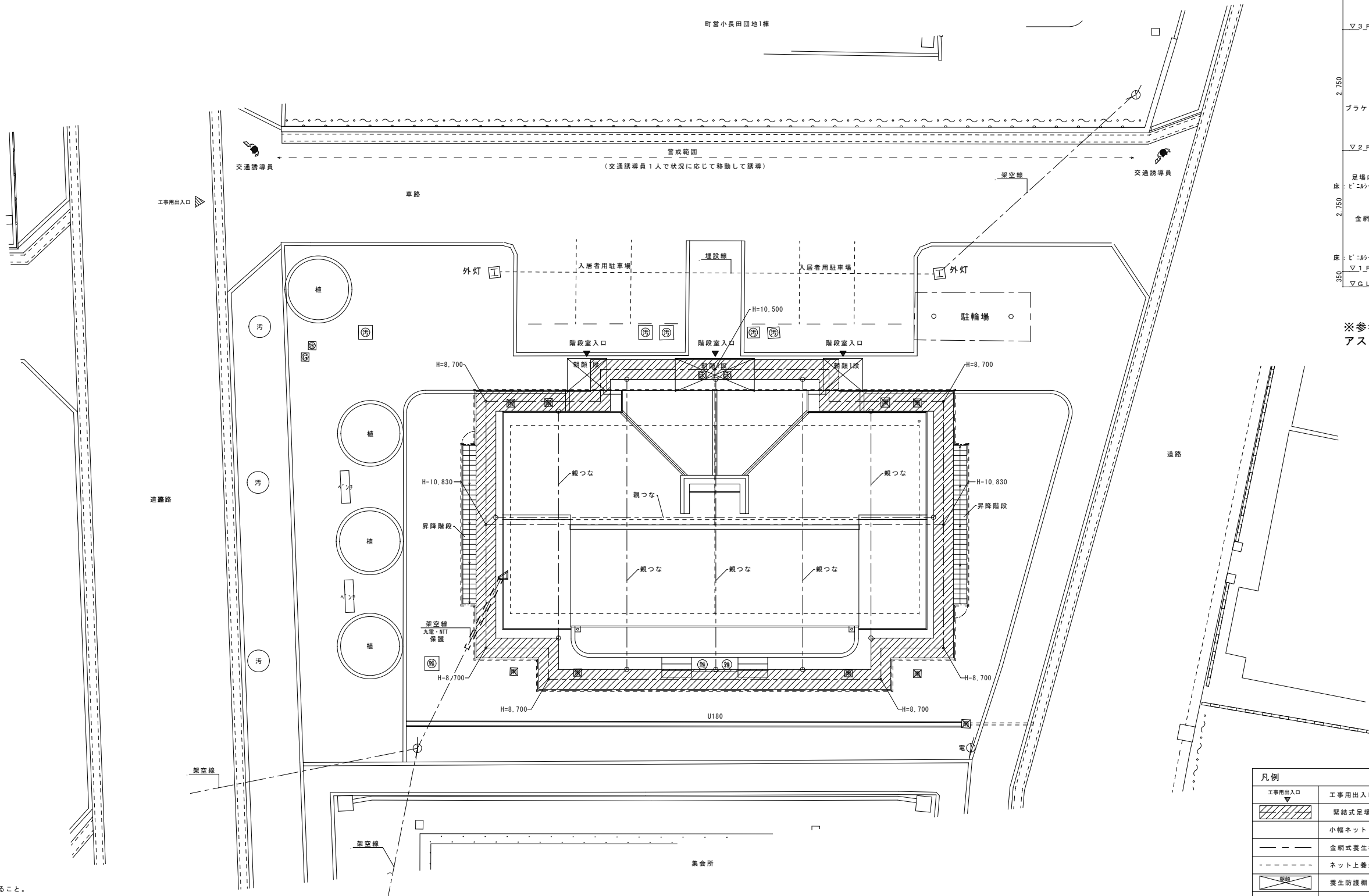
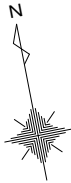
記号	寸法				7スレ ^ス 面台	7スレ ^ス 製		数量	シーリング ^ス 打替 (MS-2)	DP塗装 (両面) 枠共
	A	x	B	C		面格子	網戸			
AD-1	1,750	x	1,785		○			12	○	
AD-2	1,600	x	1,785		○			6	○	
AW-1	1,500	x	1,000		○			12	○	
AW-2	500	x	600		○		○	6	○	
AW-3	300	x	600		○	○	5枚	6	○	
SD-1	800	x	1,900					6	○	
SD-2	550	x	1,900					6		○
SD-3	800	x	1,200					1	○	○



----- シーリング打替え部分を示す
※ドア下枠はシーリング無し
※7スレ^ス面台3辺シーリング打替え



特記事項		(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大臣登録第223559号	工 事 名 称 令和6年度 小長田団地改修工事 (2 棟)	図 面 名 称 仕上表 建具表 キープラン	縮尺 S=1/100	製図年月日	令和6年度		A-08
						所 長	検 図	作 図	



※参考図
アスベスト飛散防止対策要領 S=1:50

特記事項

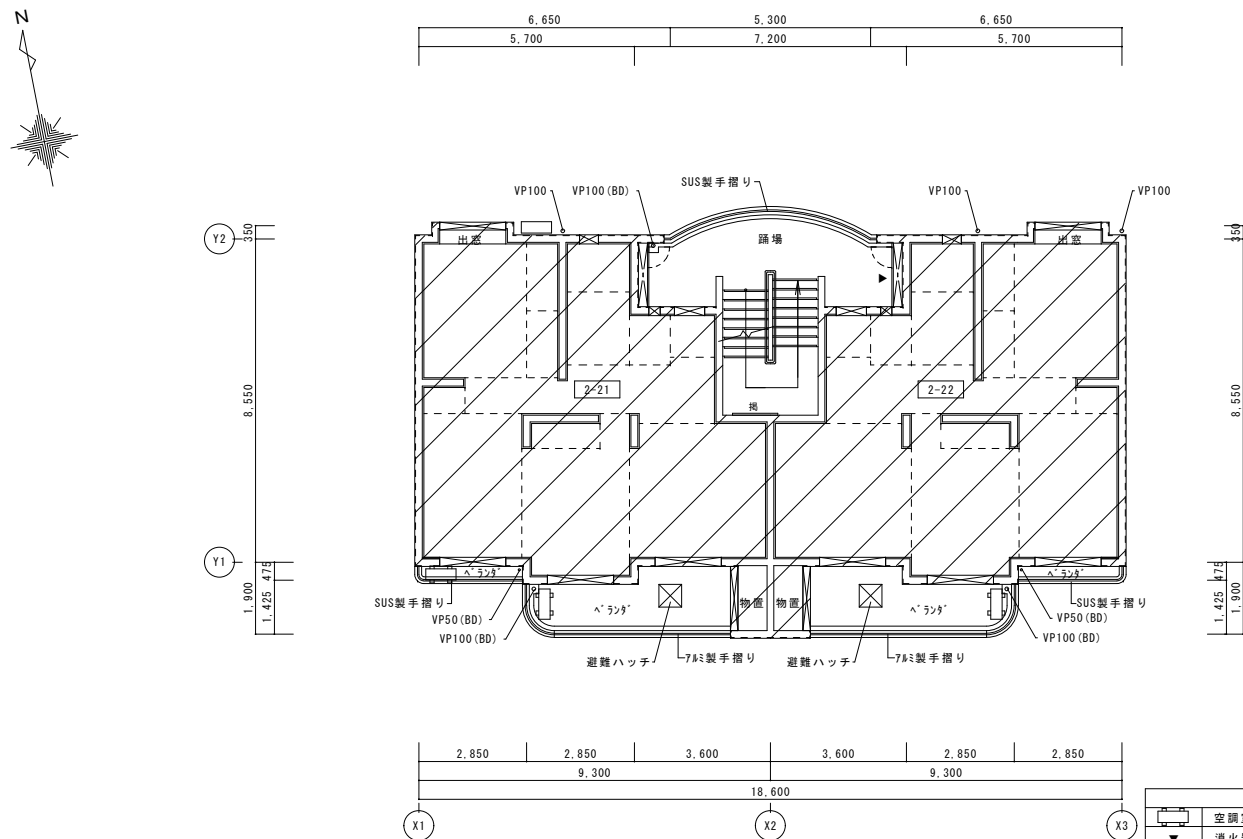
- ※工事期間中、入居者の安全に努めること。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設管理者、町監督員と協議すること。
- ※敷地内の車両の通行に際しては、最後行とし歩行者の安全に努めること。
- ※工事車両進入退時（資材搬入時）には、必ず交通誘導員を配置し、安全対策に努めること。
基本的には通勤・通学の時間帯を避けること。
- ※クレーン使用の際は、安全対策を行う事。（カラーコーン等）
- ※騒音が出る作業を行うときは、事前に施設管理者及び町監督員に報告の上作業を行うこと。
- ※工事作業動線が、別発注工事と重複する場合は作業内容及び期間を関係者を交え十分に協議し施工を行うこと。
- ※足場最上部手摺りの高さが、最も高い部分がGLより10m以上となる場合は所轄労働基準監督署に届け出ること。

外構図 S=1:100

凡例	
工事用出入口	工事用出入口
	緊結式足場(手すり先行方式)W=900(500×240布枠)
	小幡ネット(各層)
	金網式養生枠(直直)H=1.8m
	ネット上養生シート張り(防炎1類)
	養生防護棚(直線部) 枠組本足場用
	アスベスト飛散防止用の養生は別途指示による
	交通誘導員

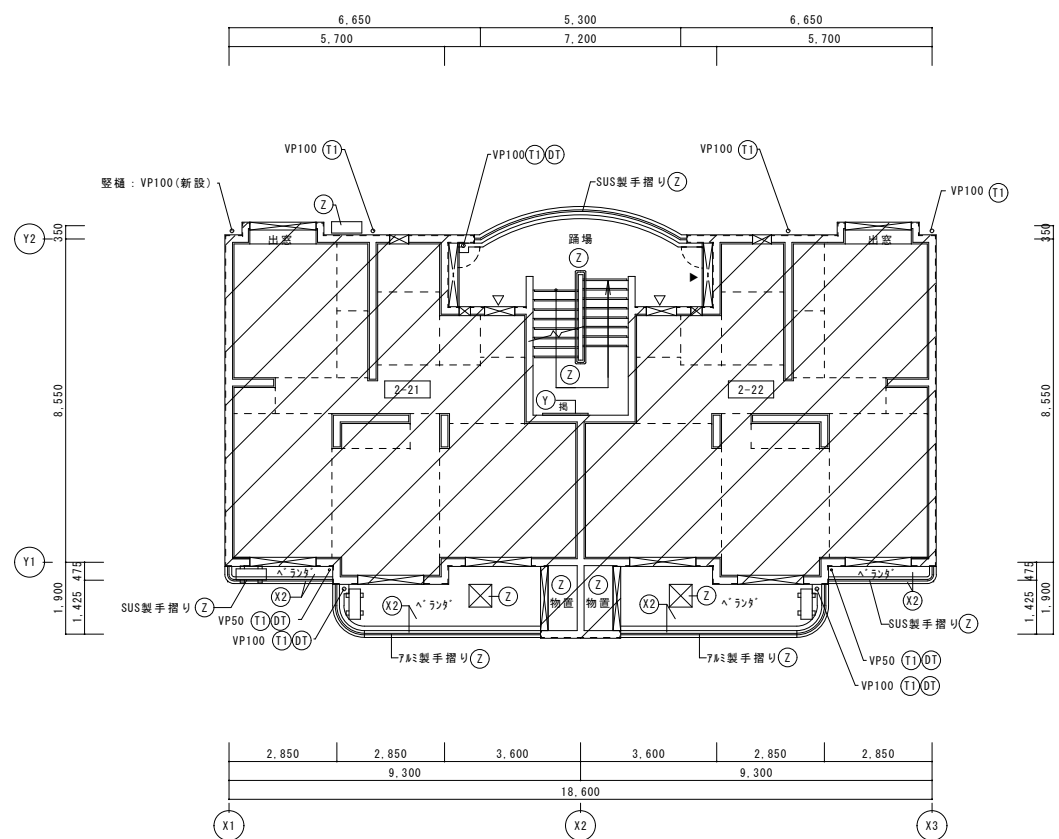
特記事項		(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大臣登録第223559号	工事名称 令和6年度 小長田団地改修工事(2棟)	図面名称 参考図 仮設計画図	縮尺 S=1/100	製図年月日	令和6年度		A-09
						所長	検図	作図	

改修前 2階平面図 S=1:100



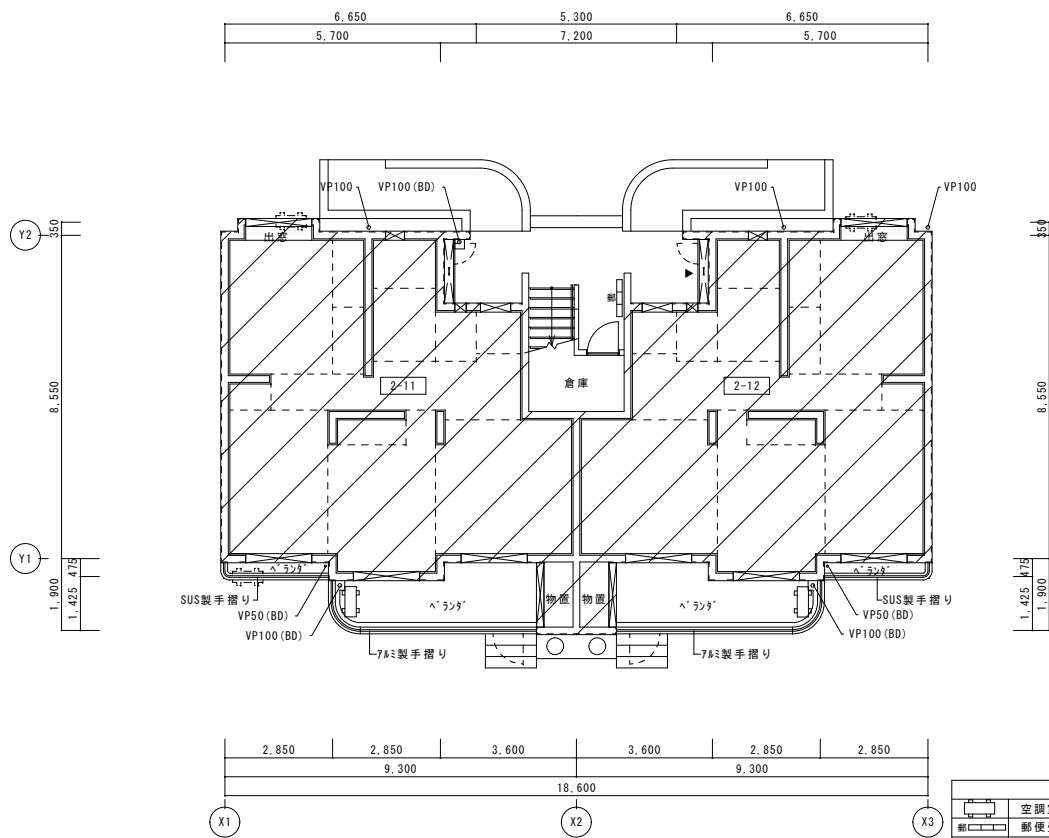
凡例	
	空調室外機
	消火器表示板
	避難ハッチ

改修後 2階平面図 S=1:100



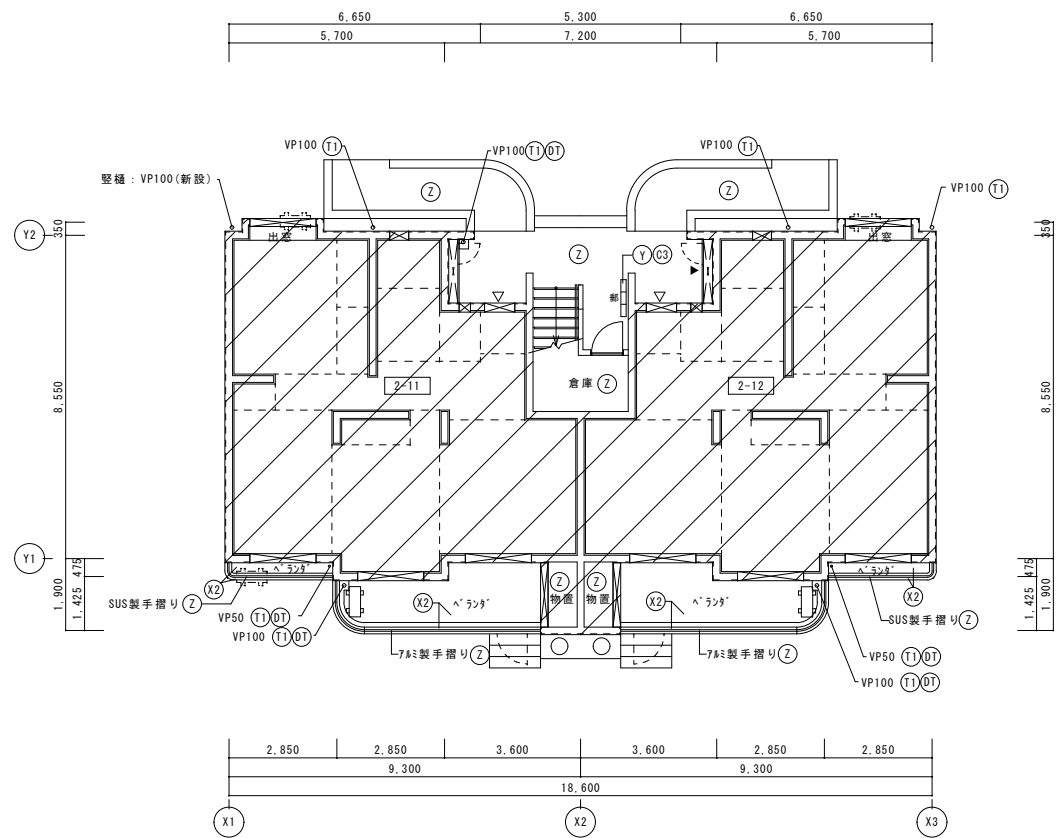
凡例	
(X2)	水洗いの上 塗膜防水(X-2)密着工法
(T1)	下地処理の上 グレシ塗装
(DT)	ドレンタームエポキシ塗り
(Y)	再取付
(Z)	既存のまま

改修前 1 階平面図 S=1:100



凡例	
	空調室外機
	郵便受け
	消火器表示板

改修後	1階平面図	S=1:100
-----	-------	---------



凡 例	
(X2)	水洗いの上 塗膜防水 (X-2) 密着工法
(T1)	下地処理の上 うレシ塗装
(O1)	ドレンカバー等 被塗り
(Z)	既存のまま

特記事項

(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20757号
福岡県行橋市行事8丁目8-10
TEL 0930-26-1101
代表取締役 松尾 真也
一級建築士 大田 登録第223

工 事 名 称

令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）

圖面名稱	圖面說明
圖 1	...
圖 2	...
圖 3	...
圖 4	...
圖 5	...
圖 6	...
圖 7	...
圖 8	...
圖 9	...
圖 10	...
圖 11	...
圖 12	...
圖 13	...
圖 14	...
圖 15	...
圖 16	...
圖 17	...
圖 18	...
圖 19	...
圖 20	...
圖 21	...
圖 22	...
圖 23	...
圖 24	...
圖 25	...
圖 26	...
圖 27	...
圖 28	...
圖 29	...
圖 30	...
圖 31	...
圖 32	...
圖 33	...
圖 34	...
圖 35	...
圖 36	...
圖 37	...
圖 38	...
圖 39	...
圖 40	...
圖 41	...
圖 42	...
圖 43	...
圖 44	...
圖 45	...
圖 46	...
圖 47	...
圖 48	...
圖 49	...
圖 50	...
圖 51	...
圖 52	...
圖 53	...
圖 54	...
圖 55	...
圖 56	...
圖 57	...
圖 58	...
圖 59	...
圖 60	...
圖 61	...
圖 62	...
圖 63	...
圖 64	...
圖 65	...
圖 66	...
圖 67	...
圖 68	...
圖 69	...
圖 70	...
圖 71	...
圖 72	...
圖 73	...
圖 74	...
圖 75	...
圖 76	...
圖 77	...
圖 78	...
圖 79	...
圖 80	...
圖 81	...
圖 82	...
圖 83	...
圖 84	...
圖 85	...
圖 86	...
圖 87	...
圖 88	...
圖 89	...
圖 90	...
圖 91	...
圖 92	...
圖 93	...
圖 94	...
圖 95	...
圖 96	...
圖 97	...
圖 98	...
圖 99	...
圖 100	...

改修前・後
1階・2階平面図

縮尺

 $S=1/100$

製図年月日

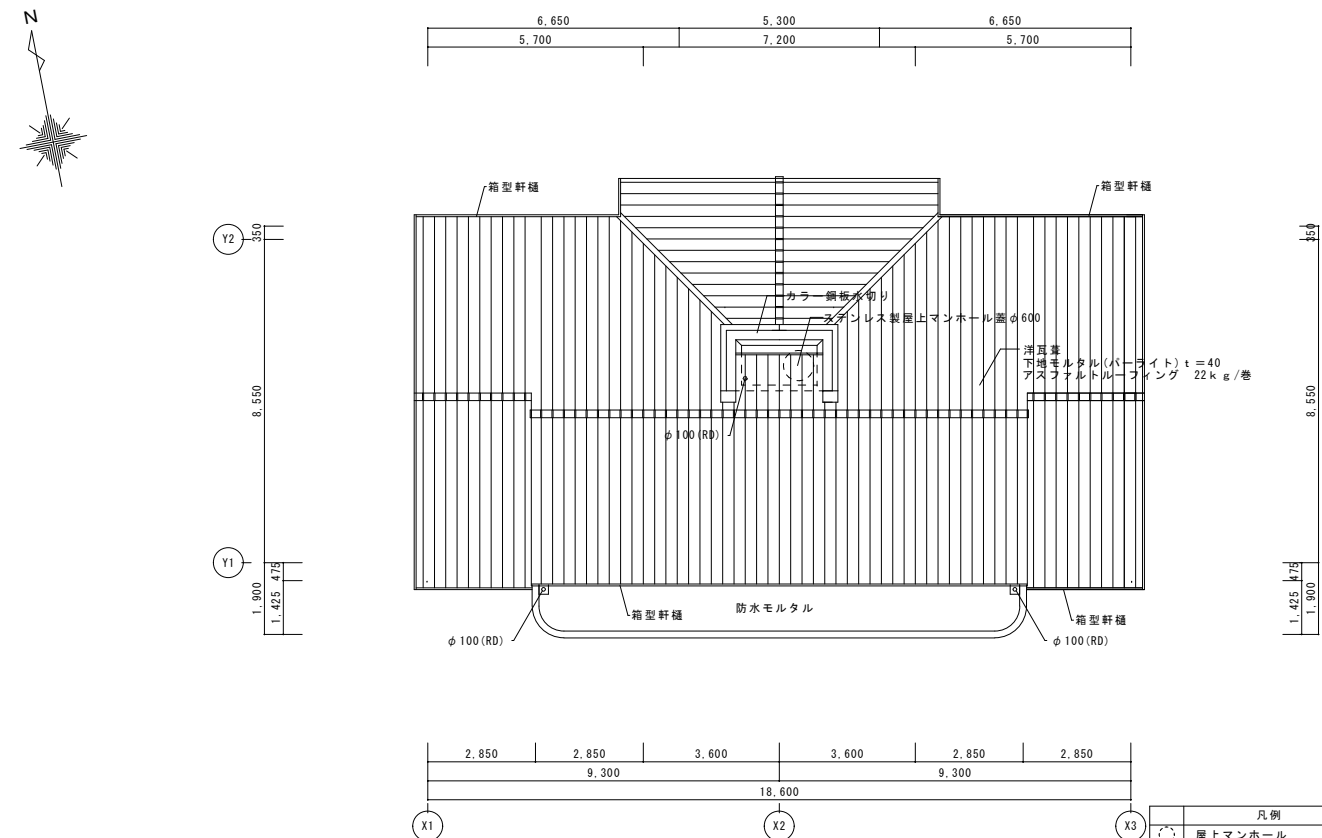
所 長

令和

☒	

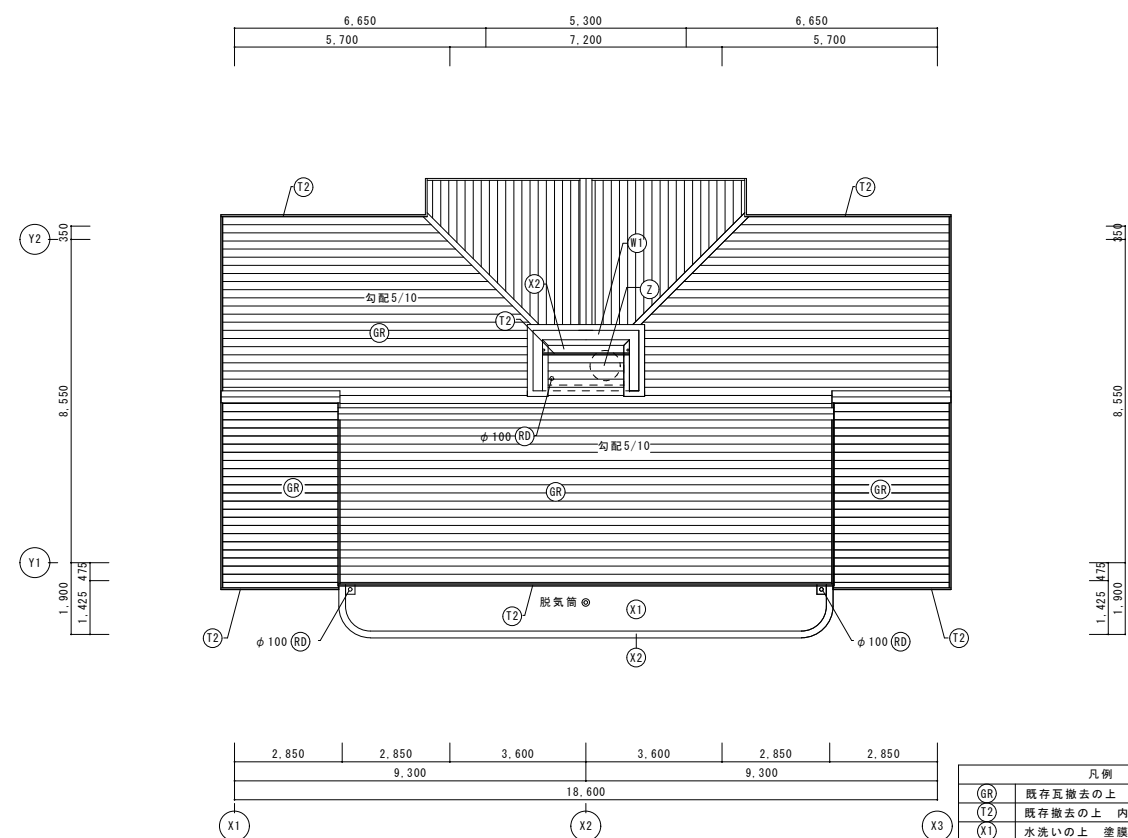
[illegible]

改修前 屋根伏図 S=1:100



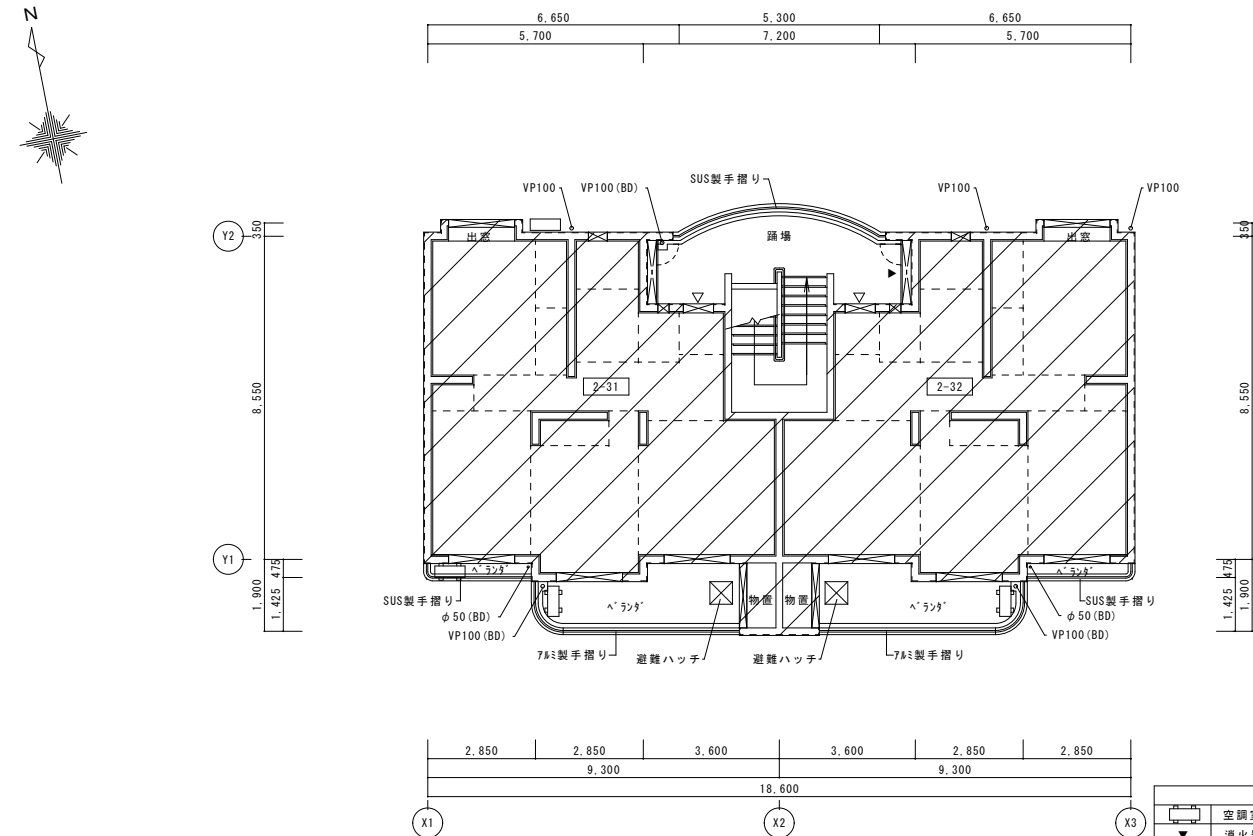
	凡例
○	屋上マンホール

改修後 屋根伏図 S=1:100



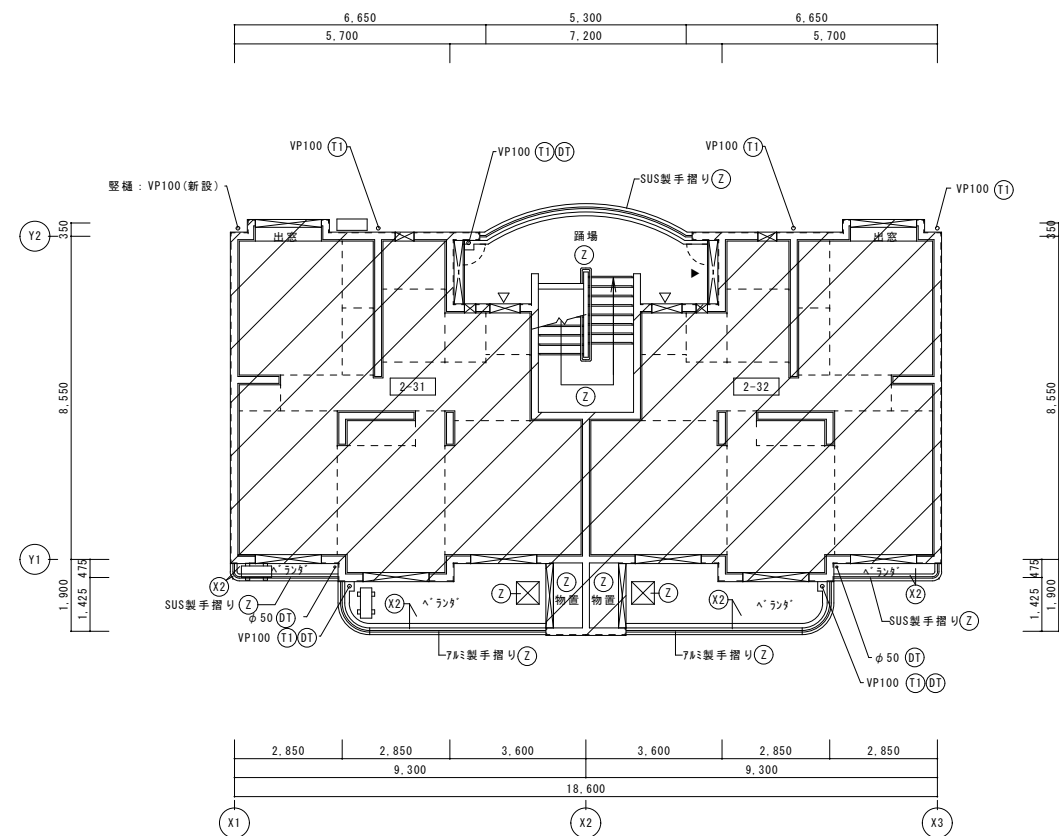
凡例	
(R)	既存瓦撤去の上 きんかん鋼板葺き土0.5
(I2)	既存撤去の上 内樋=A20新設(落葉兼除け付)
(K1)	水洗いの上 塗膜防水(X-1)密着工法
(K2)	水洗いの上 塗膜防水(X-2)密着工法
(R0)	撤去の上 改修用レイン新設
(R1)	水洗いの上 可とう形改修塗材 RE[ハーフリッドシリコン(ハ&ス)](ローラー)
(Z)	既存のまま

改修前 3階平面図 S=1:100



凡 例	
	空調室外機
	消火器表示板
	避難ハッチ

改修後 3階平面図 S=1:100



凡 例	
(X2)	水洗いの上 塗膜防水(X-2)密着工法
(T1)	下地処理の上 ウレタン塗装
(D1)	ドレンantalエポキシ塗り
(Z)	既存のまま

特記事項

(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20757号
福岡県行橋市行事8丁目8-10
TEL 0930-26-1101
代表取締役 松尾 真也
一級建築士 大匠登録第223559号

工 事 名 称

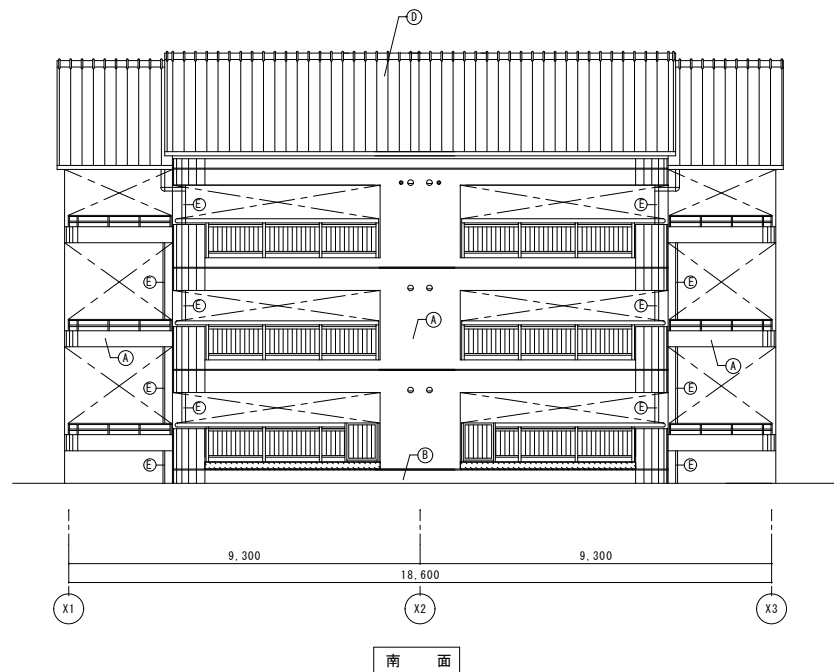
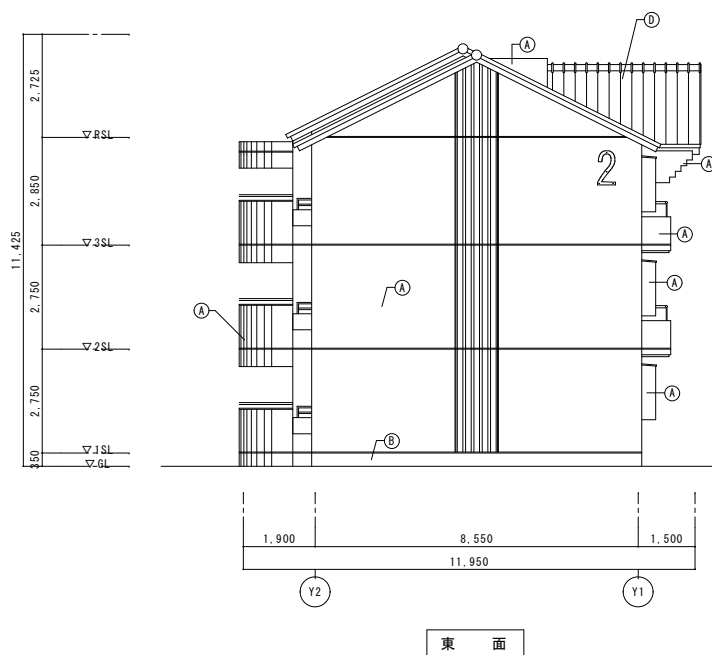
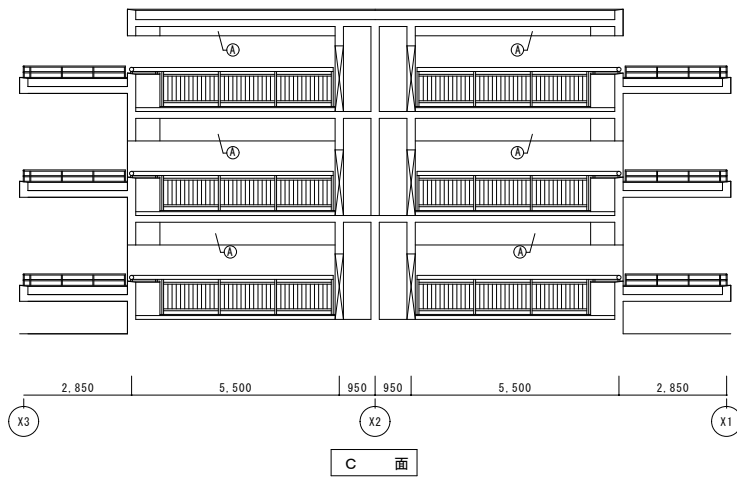
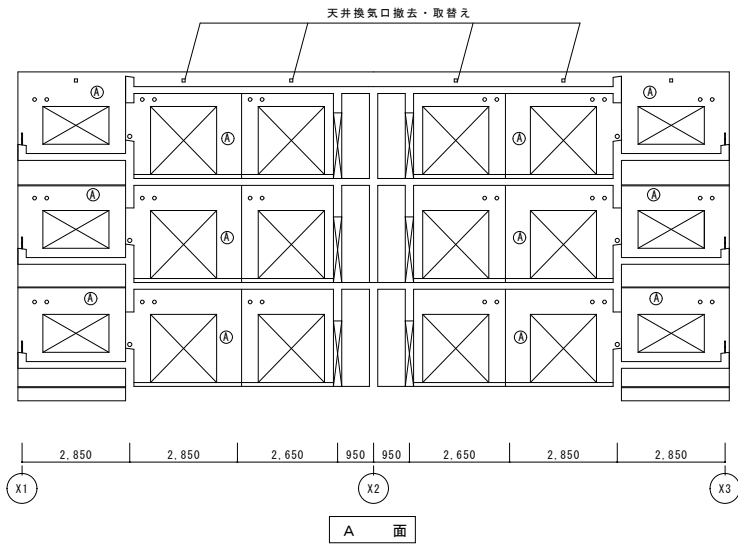
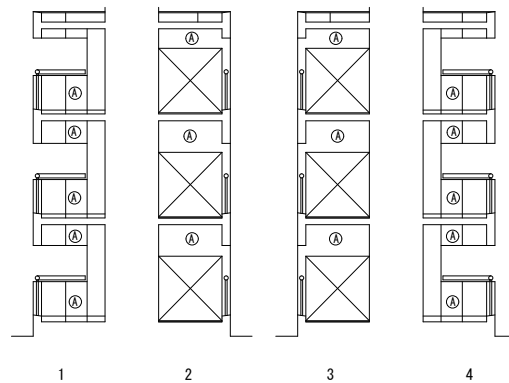
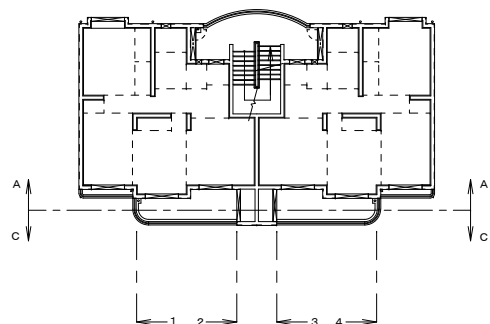
令和 6 年度 小長田団地改修工事（2 棟）

改修前・後
3階平面図

縮尺
S=1/100

製 図 年 月 日	令和6年度	
所 長		作 図
	検 図	

A-11



改修前仕様	
①	コンクリート打放し吹付タイル (高圧水洗浄30MPa)
②	モルタル金コテ仕上げ
③	防水モルタル金コテ
④	洋瓦葺き
⑤	堅固 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)

凡例	
	空調室外機
	設備ボックス
	塗膜除去

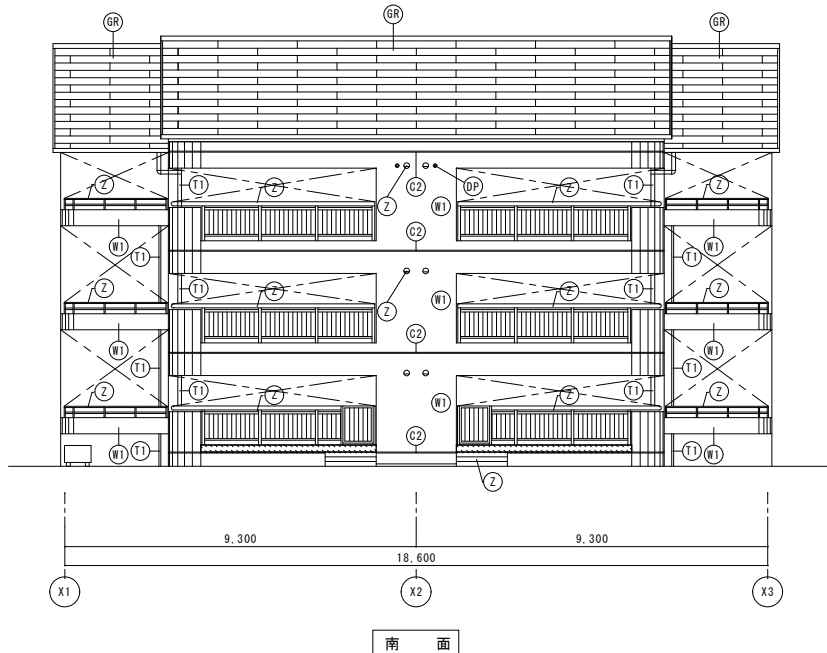
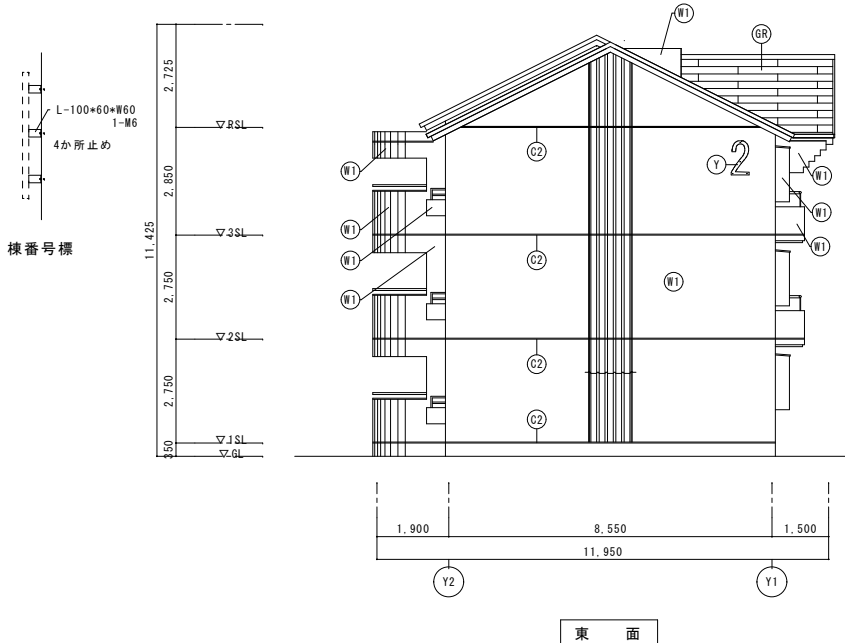
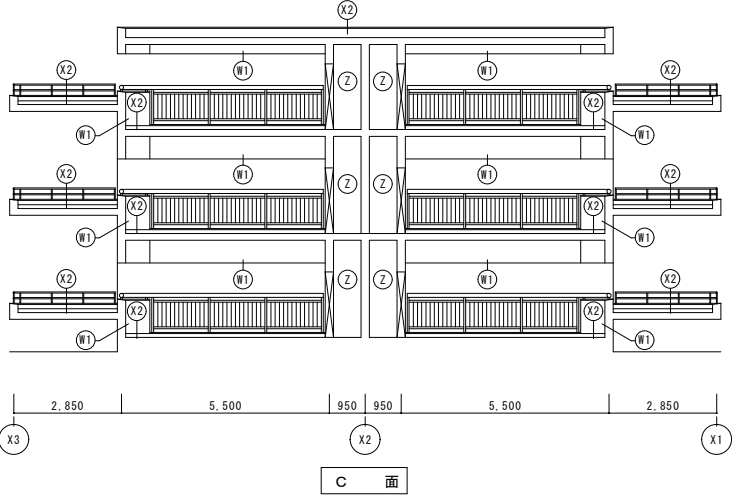
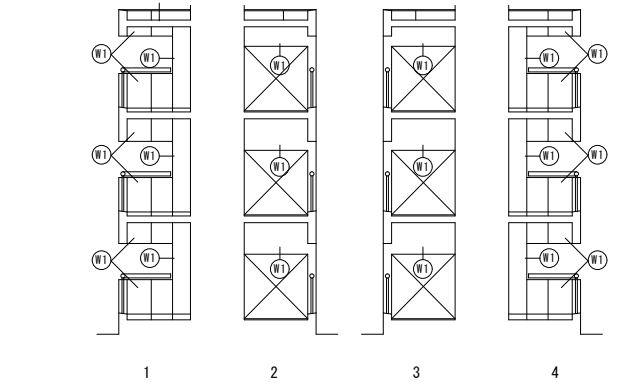
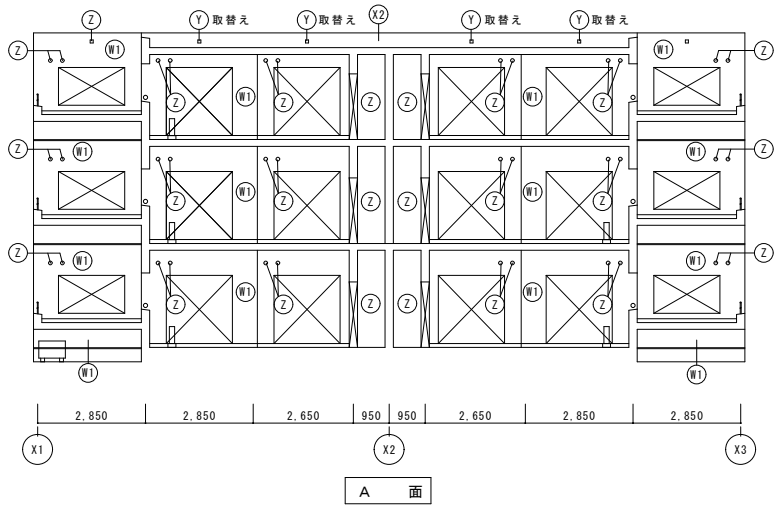
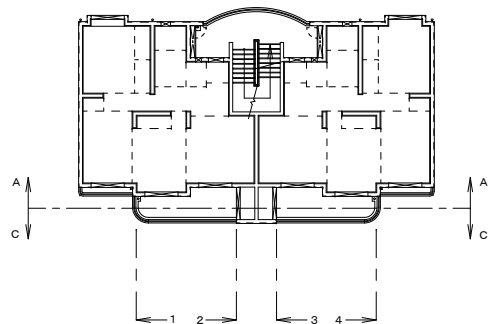
特記事項	改修前 東側・南側立面図	縮尺 S=1/100	製図年月日 令和6年度	令和6年度	
				所長	検図
				作図	

(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20757号
福岡県行橋市行事8丁目8-10
TEL 0930-26-1101

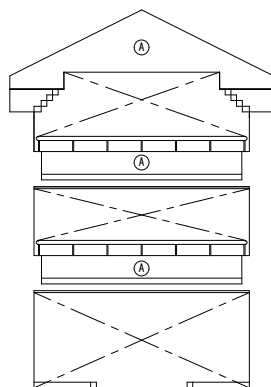
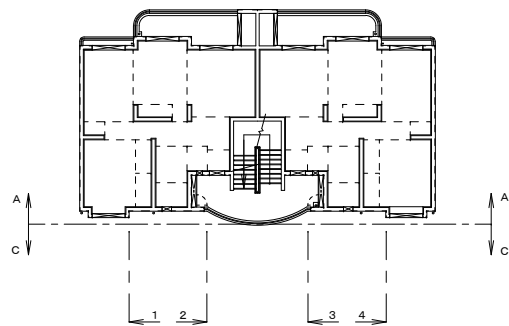
代表取締役 松尾 真也
一級建築士 大臣登録第223559号

工事名称
令和6年度 小長田団地改修工事 (2棟)

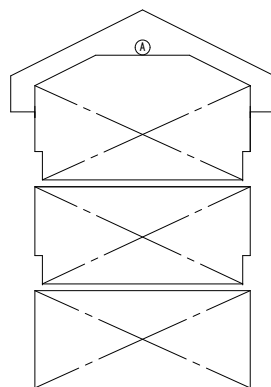
A-12



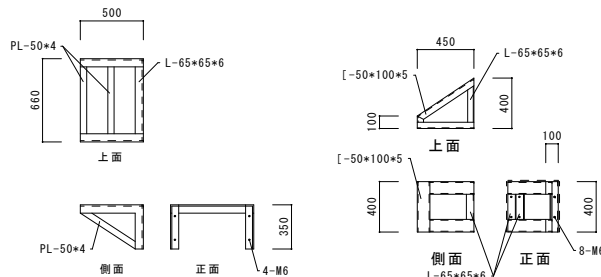
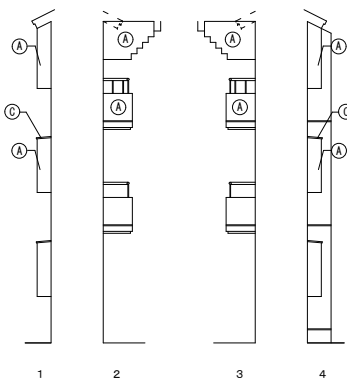
凡例	
(C2)	撤去の上 シーリング 打25×10 (MS-2)
(C3)	コーナーシーリング 打 (MS-2)
(GR)	撤去の上 かんりりく鋼板横葺きt0.5
(W1)	水洗いの上 可とう形改修塗材RE[n47'リット'シリコン(n&s)] (0-5-)
(DP)	DP塗り
(T1)	下地処理の上 クレタ塗装
(X2)	水洗いの上 塗膜防水 (X-2) 密着工法
(Y)	取外し再取付
(Z)	既存のまま
下地調整塗材 C-2	
空調室外機	
設備ボックス	



X2
C 面

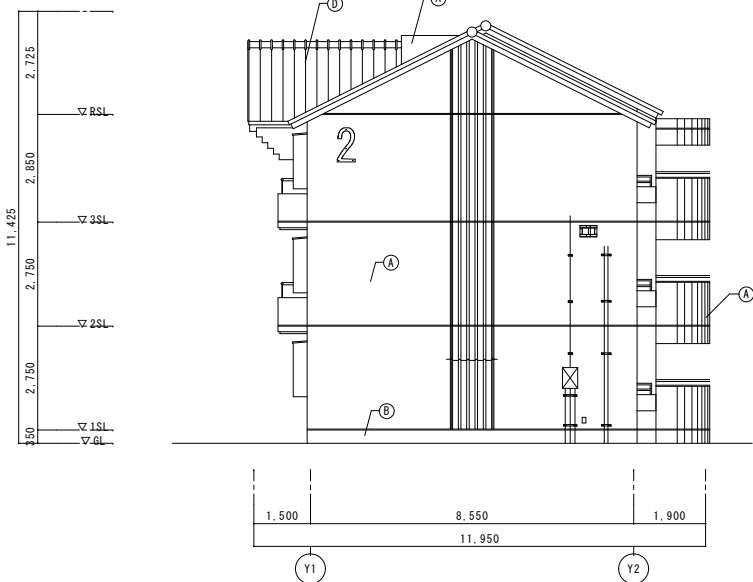


X2
A 面

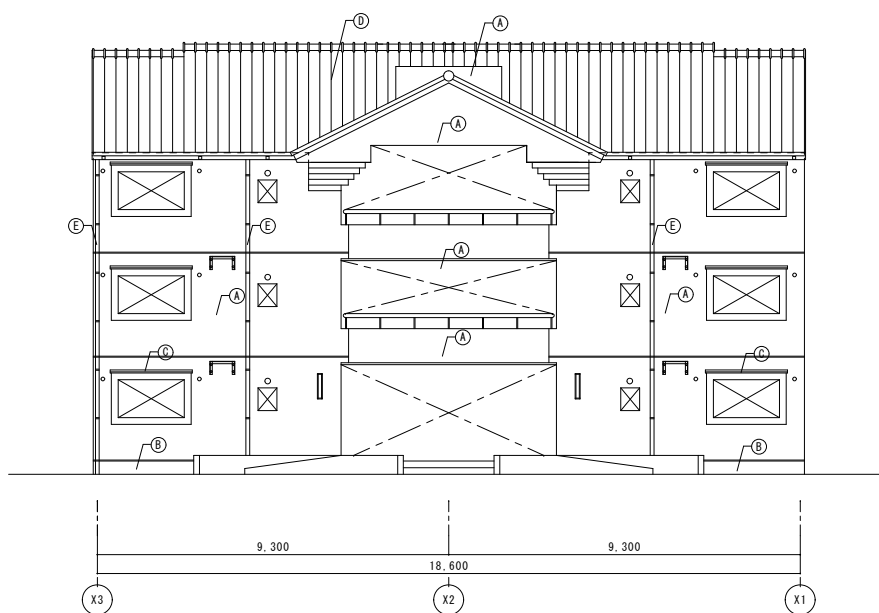


エアコンハンガー

電線受け



西 面

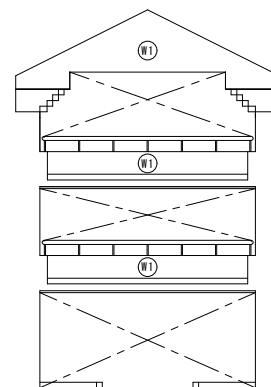
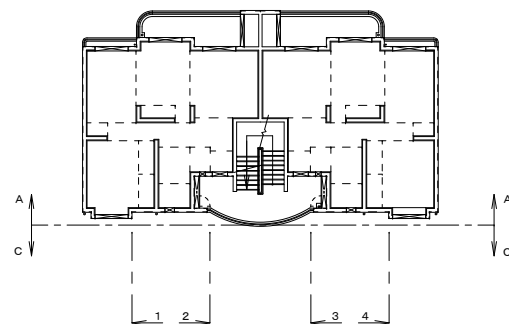


北 面

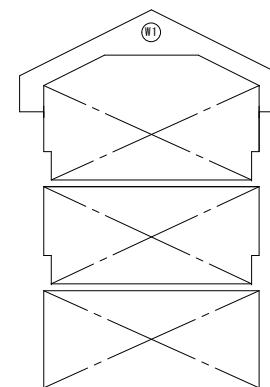
改修前仕上	
①	コンクリート打放し吹付け (高圧水洗浄30MPa)
②	モルタル仕上
③	防水モルタル
④	洋瓦葺き
⑤	壁紙 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)

凡例	
	空調室外機
	設備ボックス

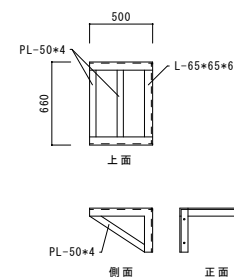
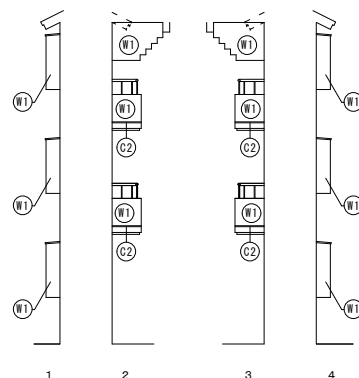
特記事項		(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大臣登録第223559号	工 事 名 称 令和6年度 小長田団地改修工事 (2棟)	図 面 名 称 改修前 西側・北側立面図	縮 尺 S=1/100	製図年月日	令和6年度		A-14
						所 長	検 査	作 図	



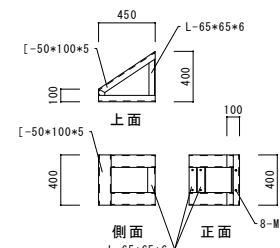

 C 面



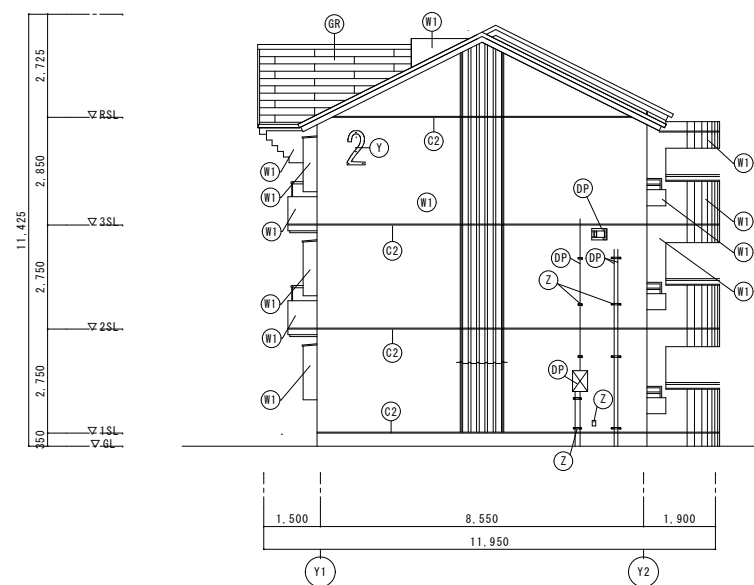

A 面



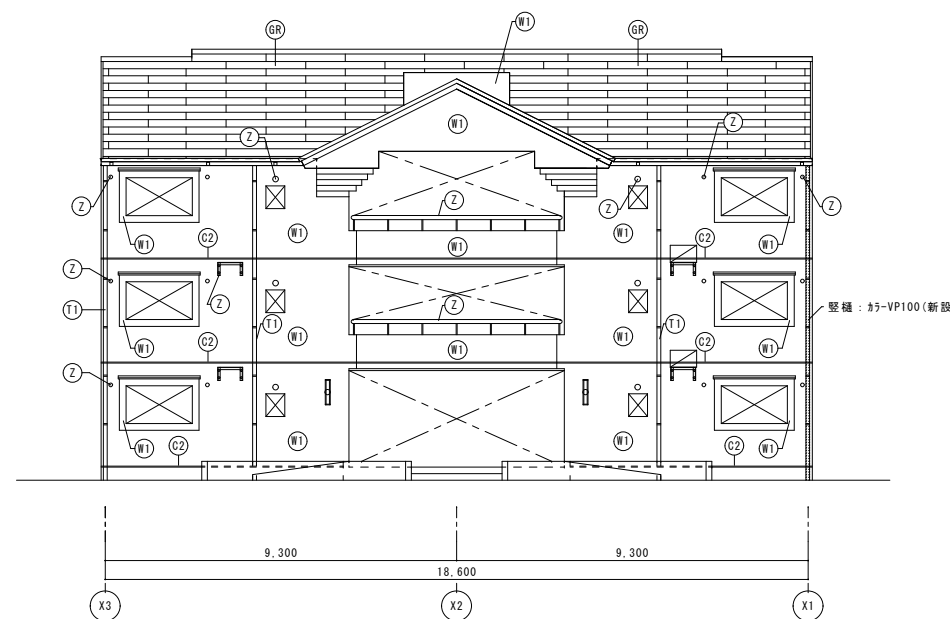
エアコンハンガー (SUS) (Z)



電線受け (DP)



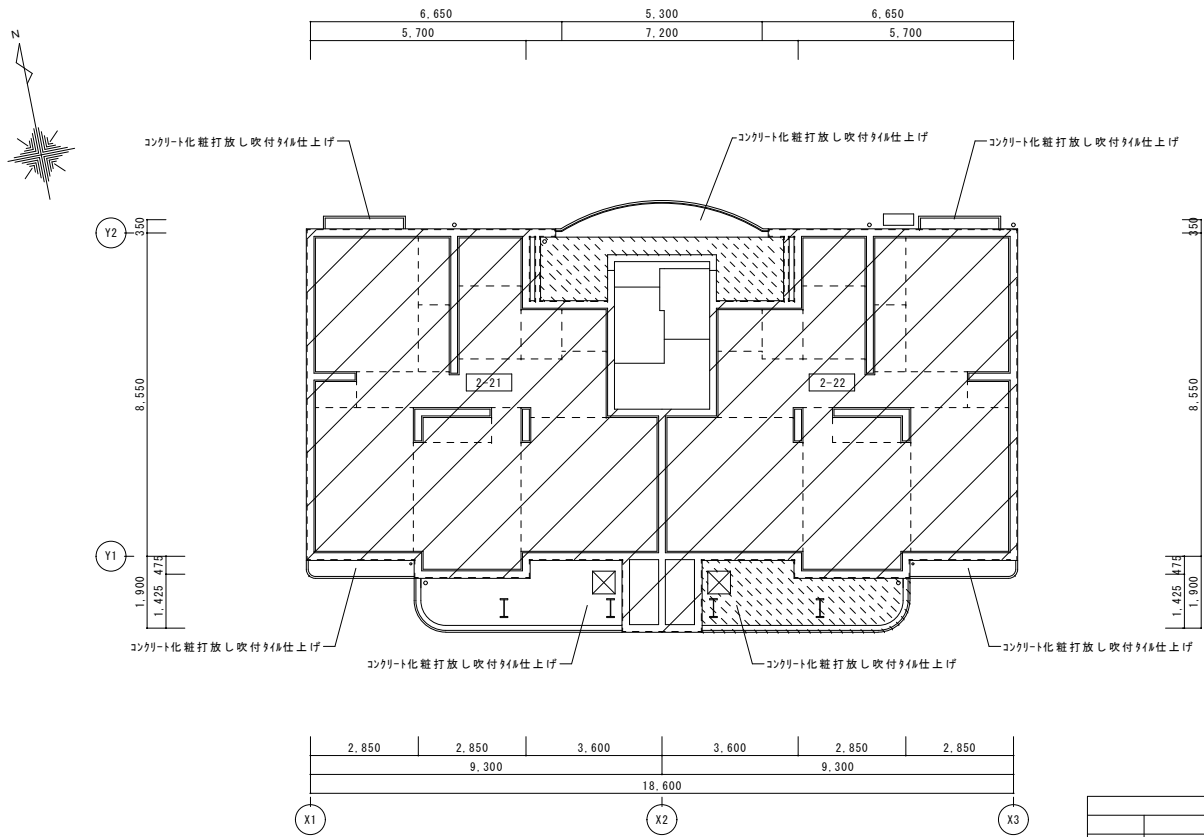
西面



北面

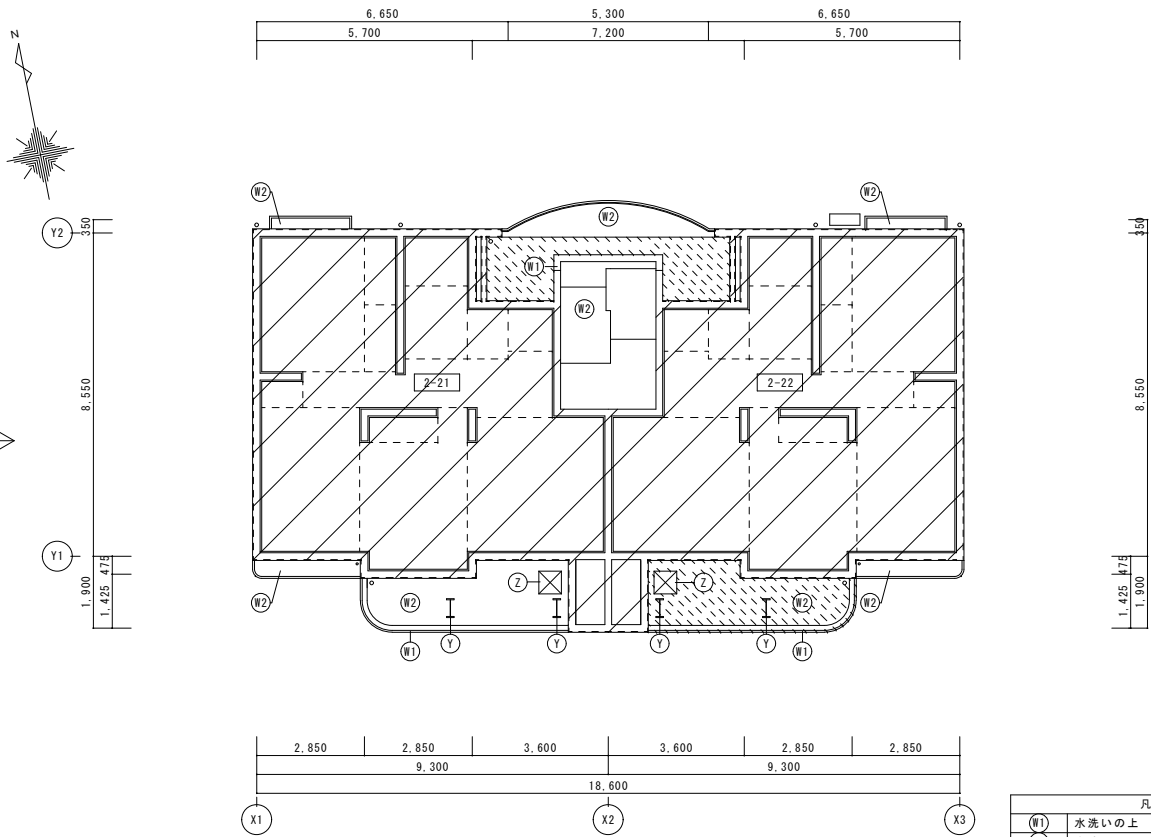
凡例	
(C2)	撤去の上 シーリング 打25×10(MS-2)
(GR)	撤去の上 ガラス板換機置きt0.5
(W1)	水洗いの上 可とう形改修塗材RE[ハイパ'リット'シリコン(n8&)](R=ラウ)
(DP)	DP塗り
(T1)	下地処理の上 クレタ塗装
(Y)	水洗いの上 塗膜防水(X-2)密着工法
(Y)	取外し再取付
(Z)	既存のまま
	空調室外機
	壁掛け照明【電気工事】
	設備スイッチス

改修前 2階天井伏図 S=1:100



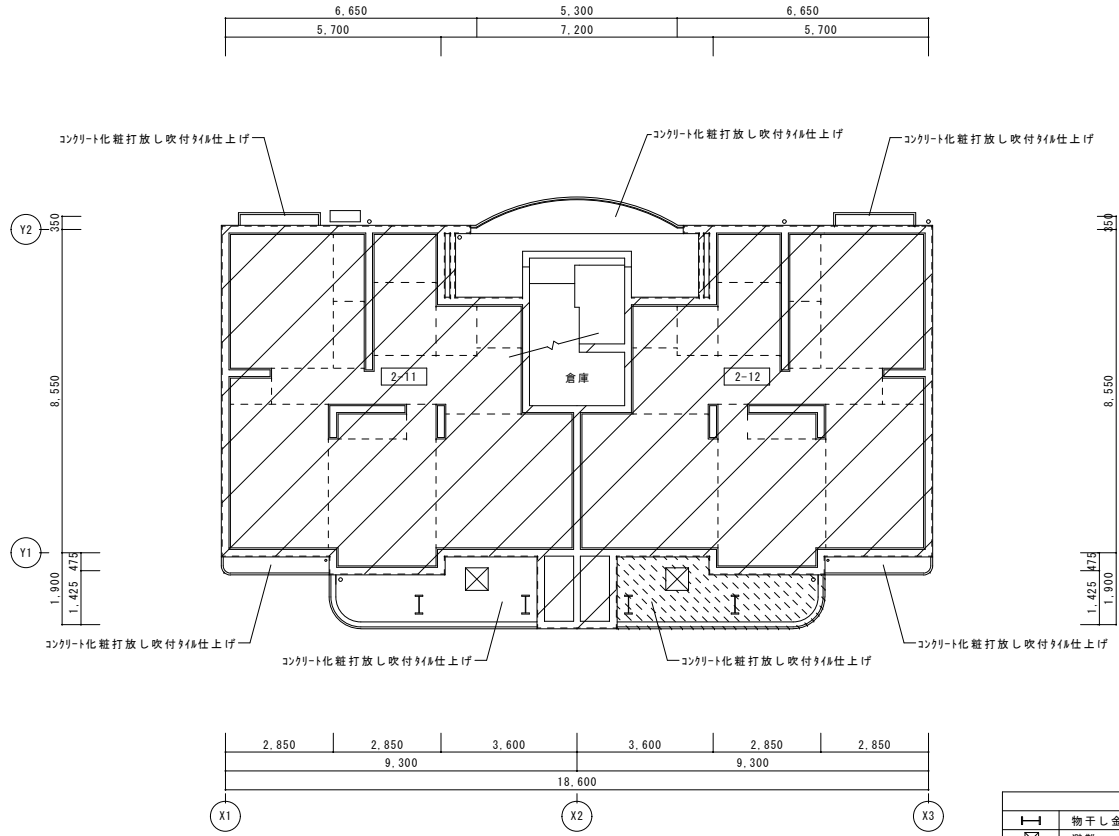
凡例	
	物干し金物
	避難ハッチ
	塗膜除去

改修後 2階天井伏図 S=1:100



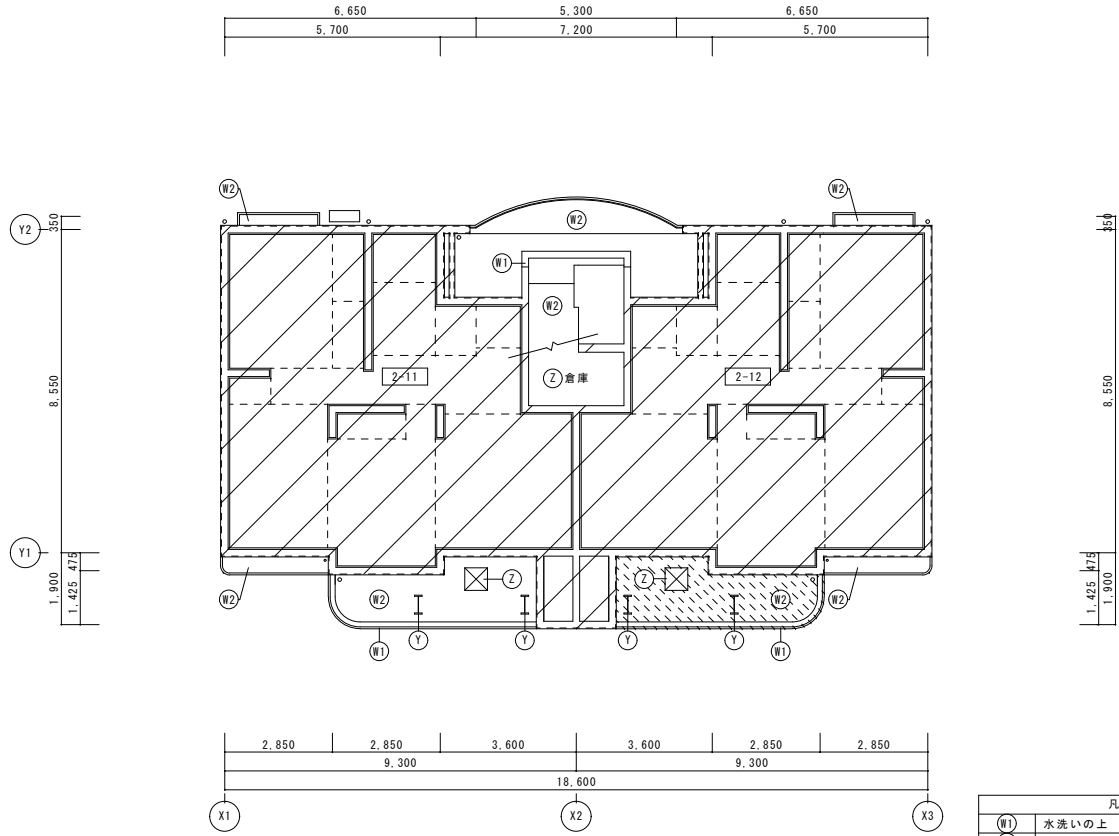
凡例	
(W1)	水洗いの上 可とう形改修塗材RE[nイグ'リット'シリコン(n&S)](R-ラー)
(W2)	水洗いの上 軒天塗替え用仕上塗材[つや有合成樹脂エポキシペイント]
(Y)	取外し・再取付
(Z)	既存のまま
	下地調整塗材 C-2

改修前 1階天井伏図 S=1:100

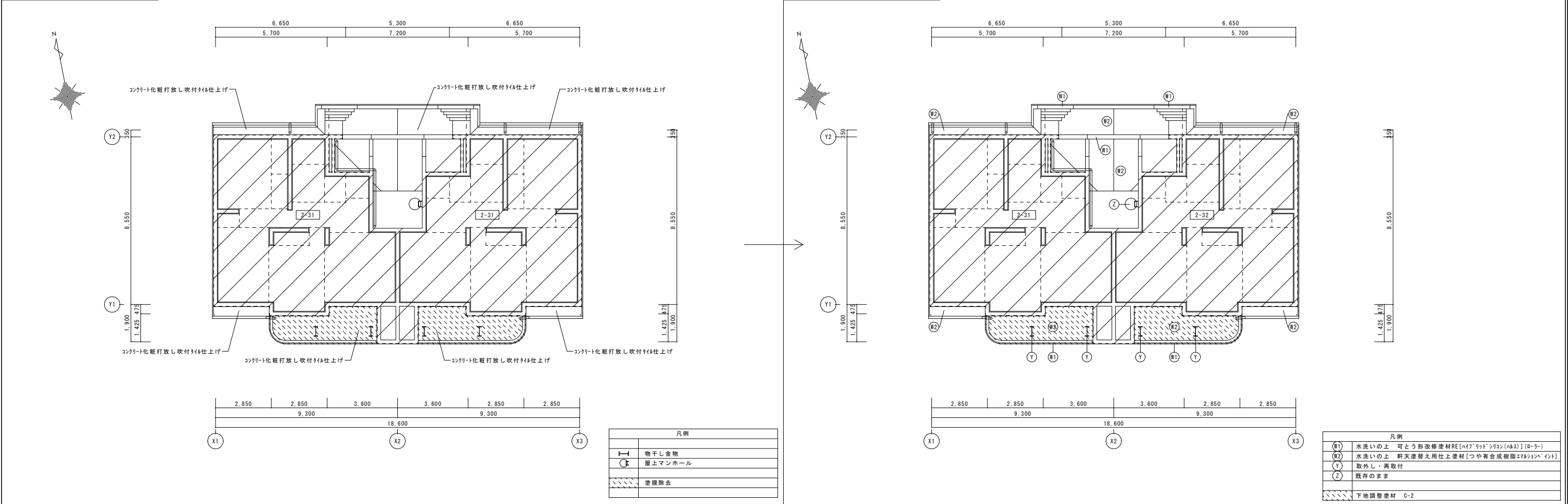


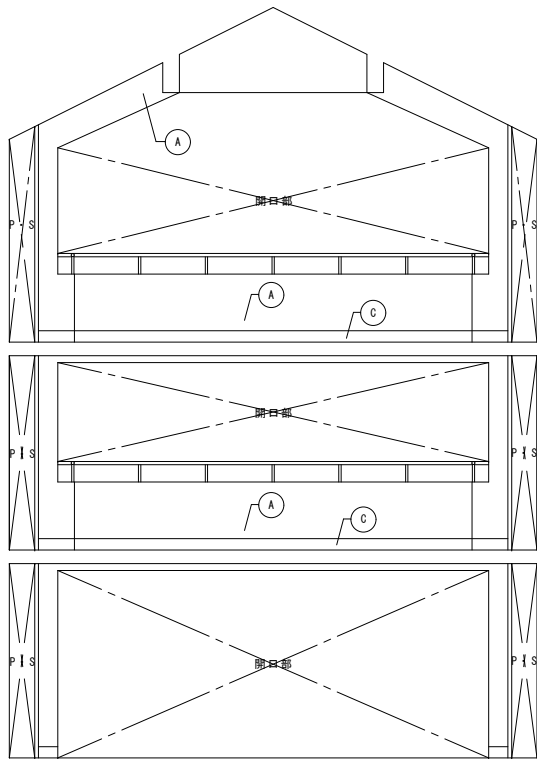
凡例	
	物干し金物
	避難ハッチ
	塗膜除去

改修後 1階天井伏図 S=1:100

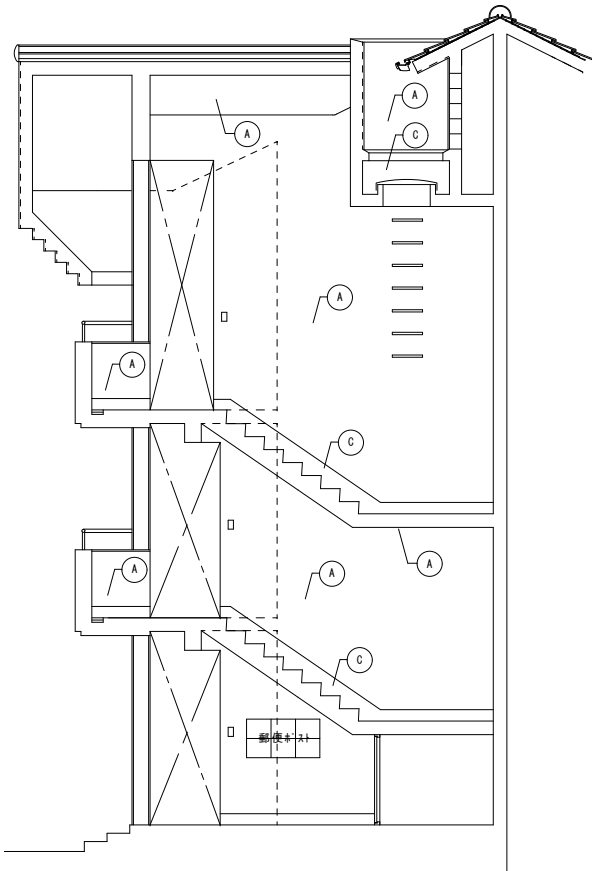


凡例	
(W1)	水洗いの上 可とう形改修塗材RE[nイグ'リット'シリコン(n&S)](R-ラー)
(W2)	水洗いの上 軒天塗替え用仕上塗材[つや有合成樹脂エポキシペイント]
(Y)	取外し・再取付
(Z)	既存のまま
	下地調整塗材 C-2

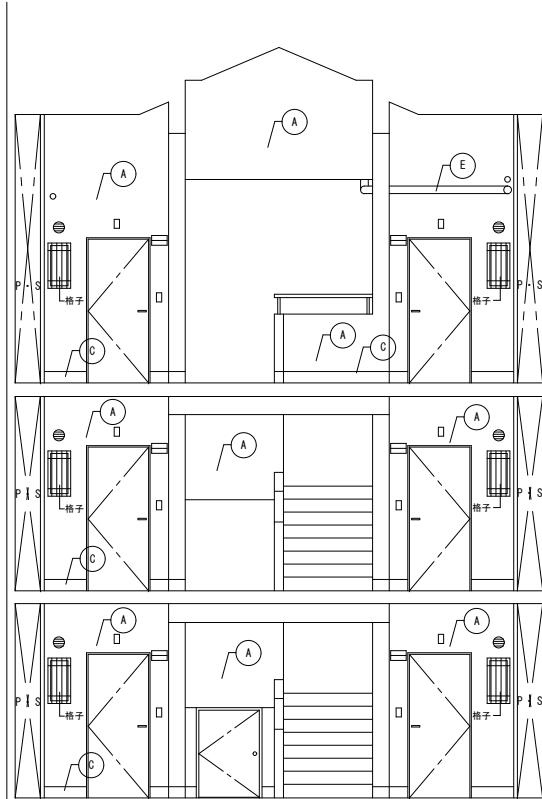




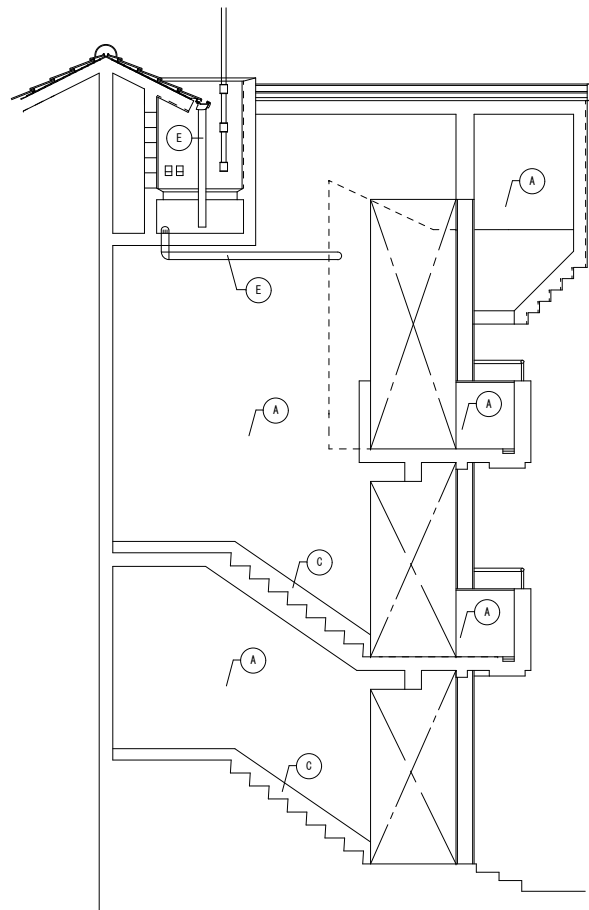
A面



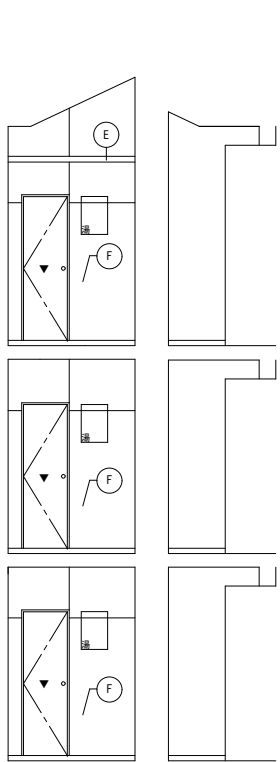
B面



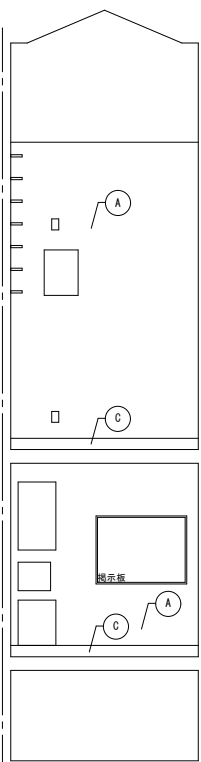
C面



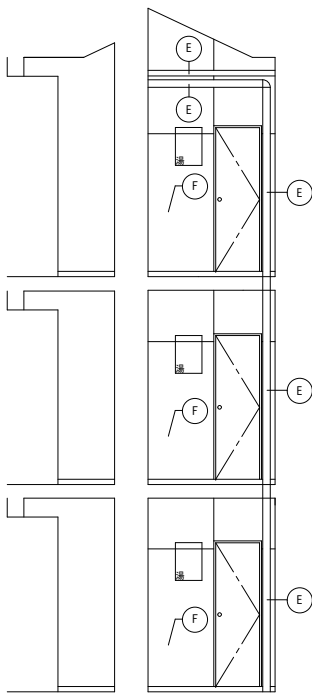
D面



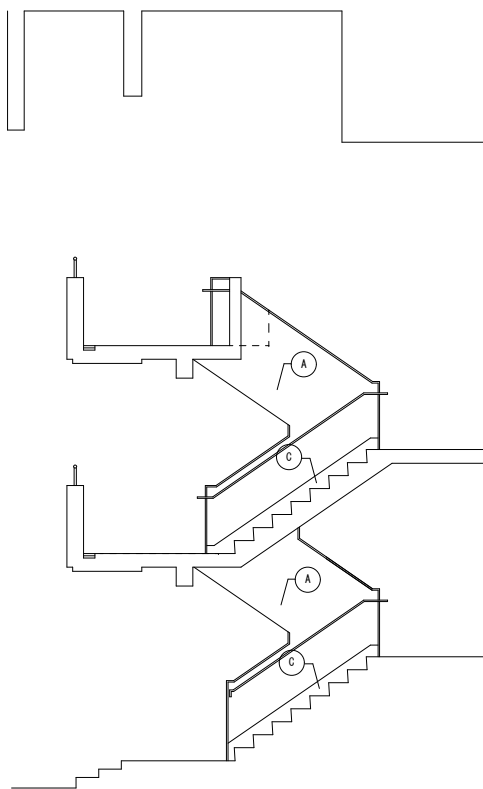
B'面



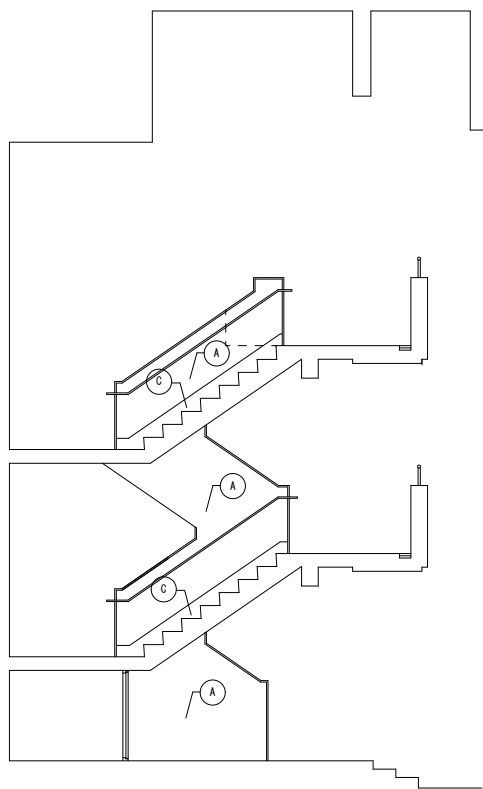
C'面



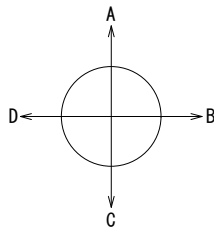
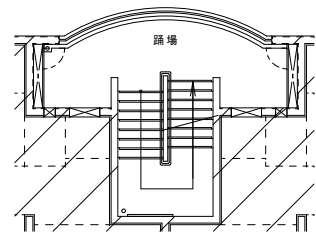
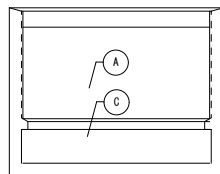
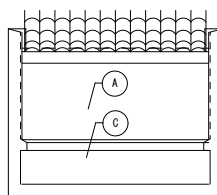
D'面



B面
手摺壁



D面
手摺壁



改修前仕上	
①	コンクリート打放し吹付タイル
②	モザイク金コ仕上
③	防水モザイク金コ
④	洋瓦葺き
⑤	縦樋 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)
⑥	ケレン板7-6+6 E.P
▼	消火器表示板
*郵便ポスト取外し取付	

特記事項

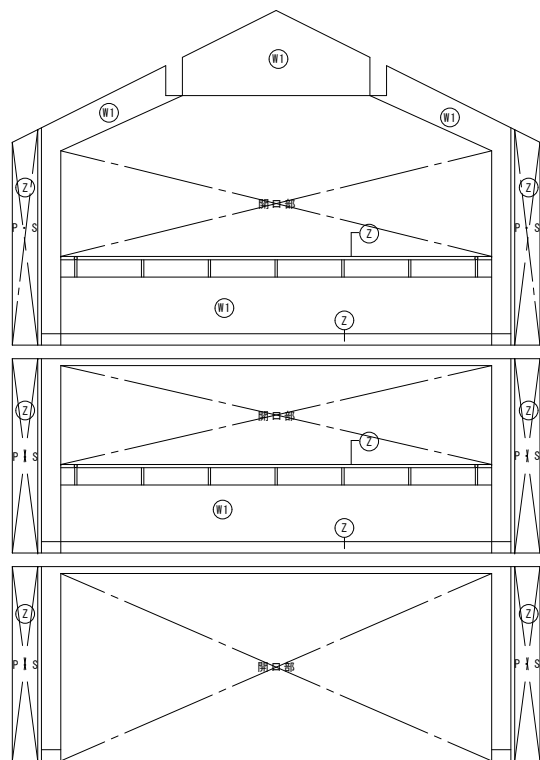
(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20757号
福岡県行橋市行事8丁目8-10
TEL 0930-26-1101
代表取締役 松尾 真也
一級建築士 大臣登録第223559号

工事名称
令和6年度 小長田団地改修工事 (2棟)

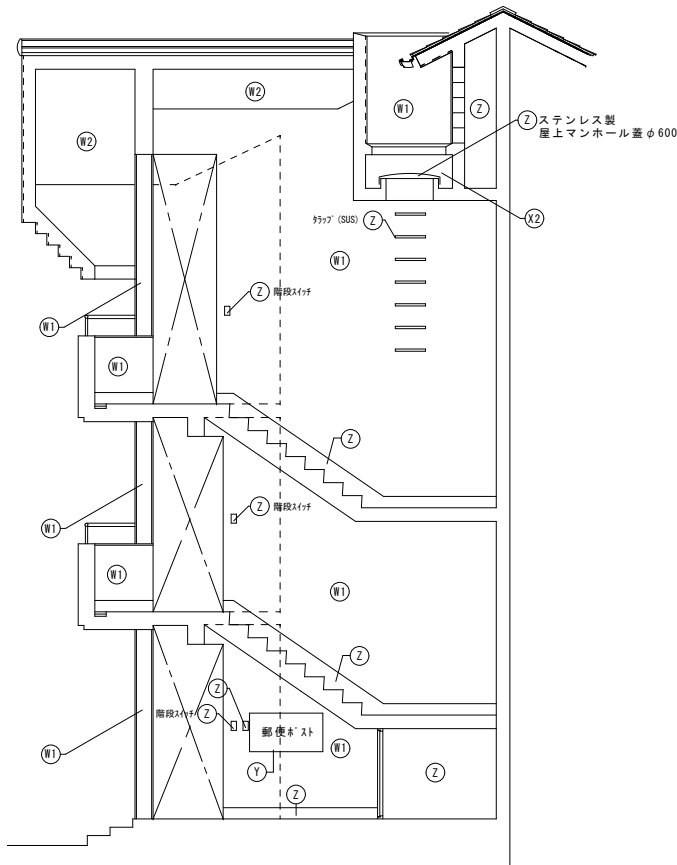
図面名称
改修前
階段室 展開図

縮尺
S=1/50

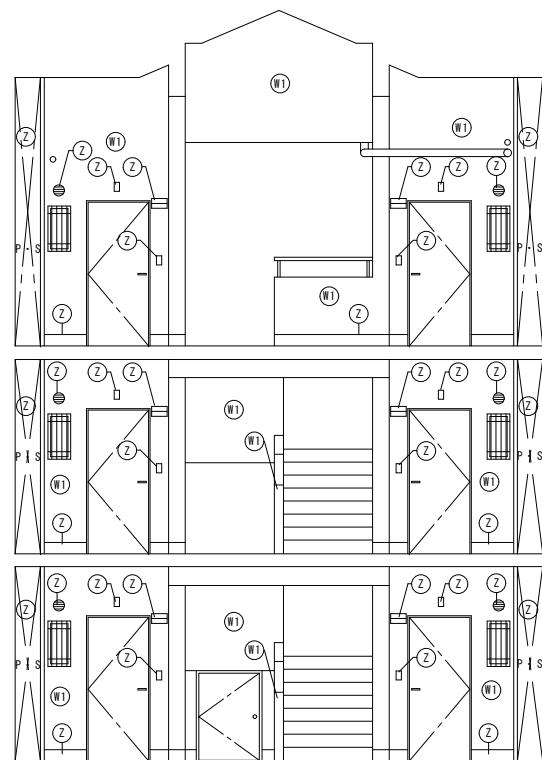
製図年月日
令和6年度
所長 検図 作図



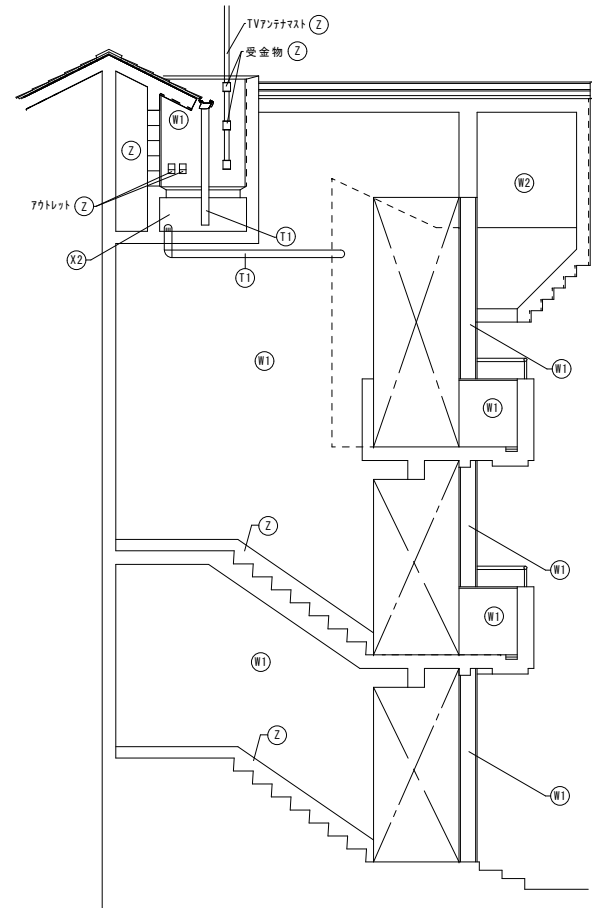
A面



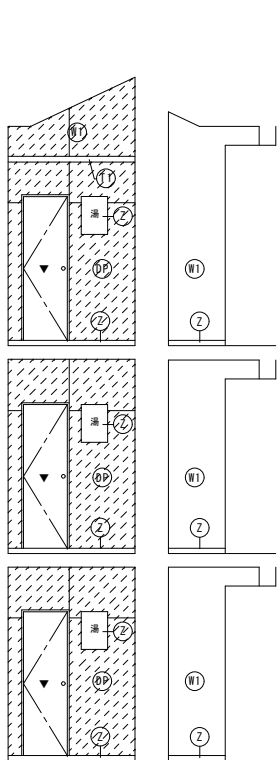
B面



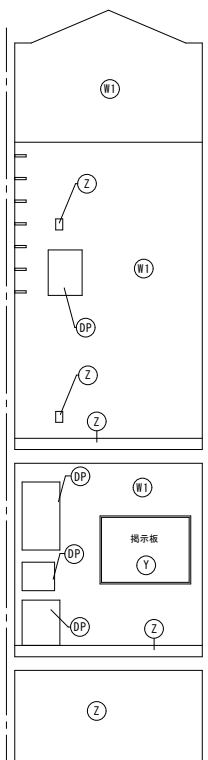
C面



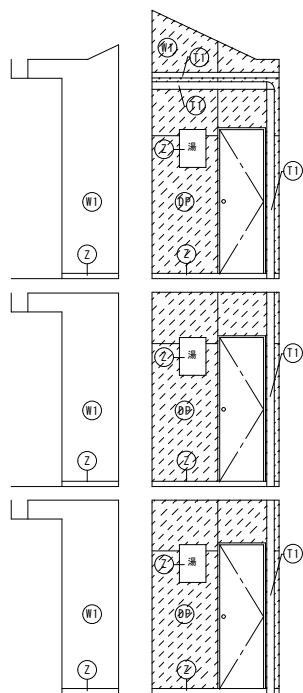
D面



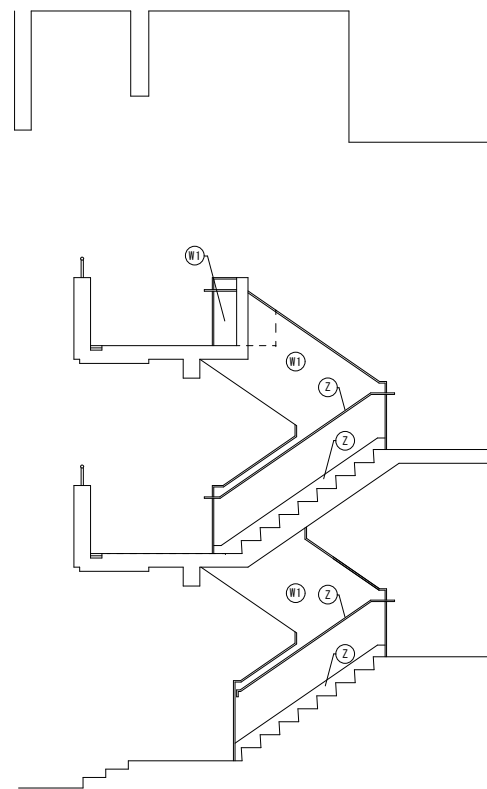
B'面



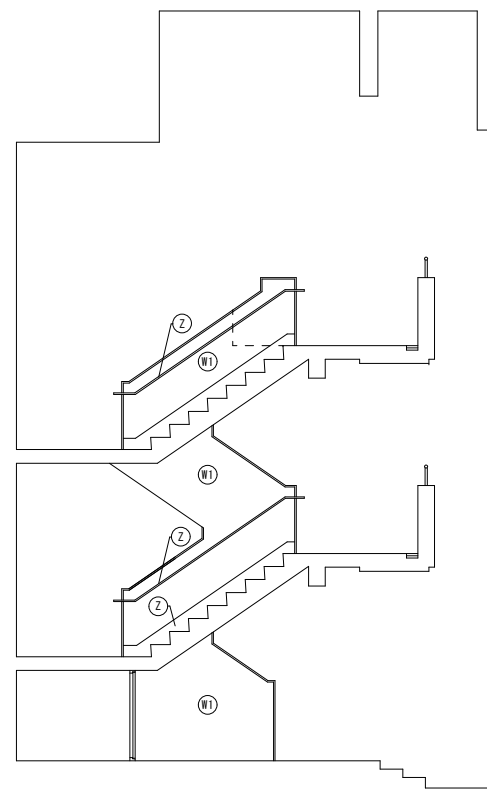
C'面



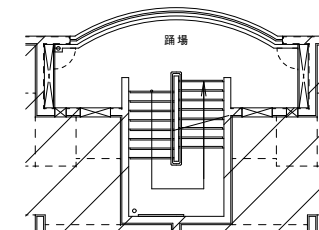
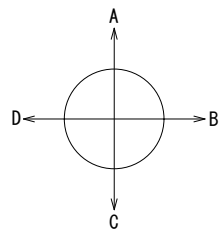
D'面



B面
手摺壁



D面
手摺壁



凡例	
(W1)	水洗いの上 可とう形改修塗材RE[nイゾ'リット'シリコン(A&S)](R-5-7)
(W2)	水洗いの上 軒天変替え用仕上塗材[つや有合成樹脂エポキシハ'イト]
(X2)	撤去の上 塗膜防水(X-2)密着工法
(R0)	撤去の上 改修用ド'レイン新設
(DP)	DP塗り
(T1)	下地処理の上 グレシ'ン塗装
(C4)	撤去の上 シーリング'打15×10(MS-2)
(C5)	撤去の上 シーリング'打20×10(MS-2)
(Y)	取外し・再取付
(Z)	既存のまま
▼	撤去 新設 (消火器表示板)
(C1)	下地調整塗材 C-1

特記事項

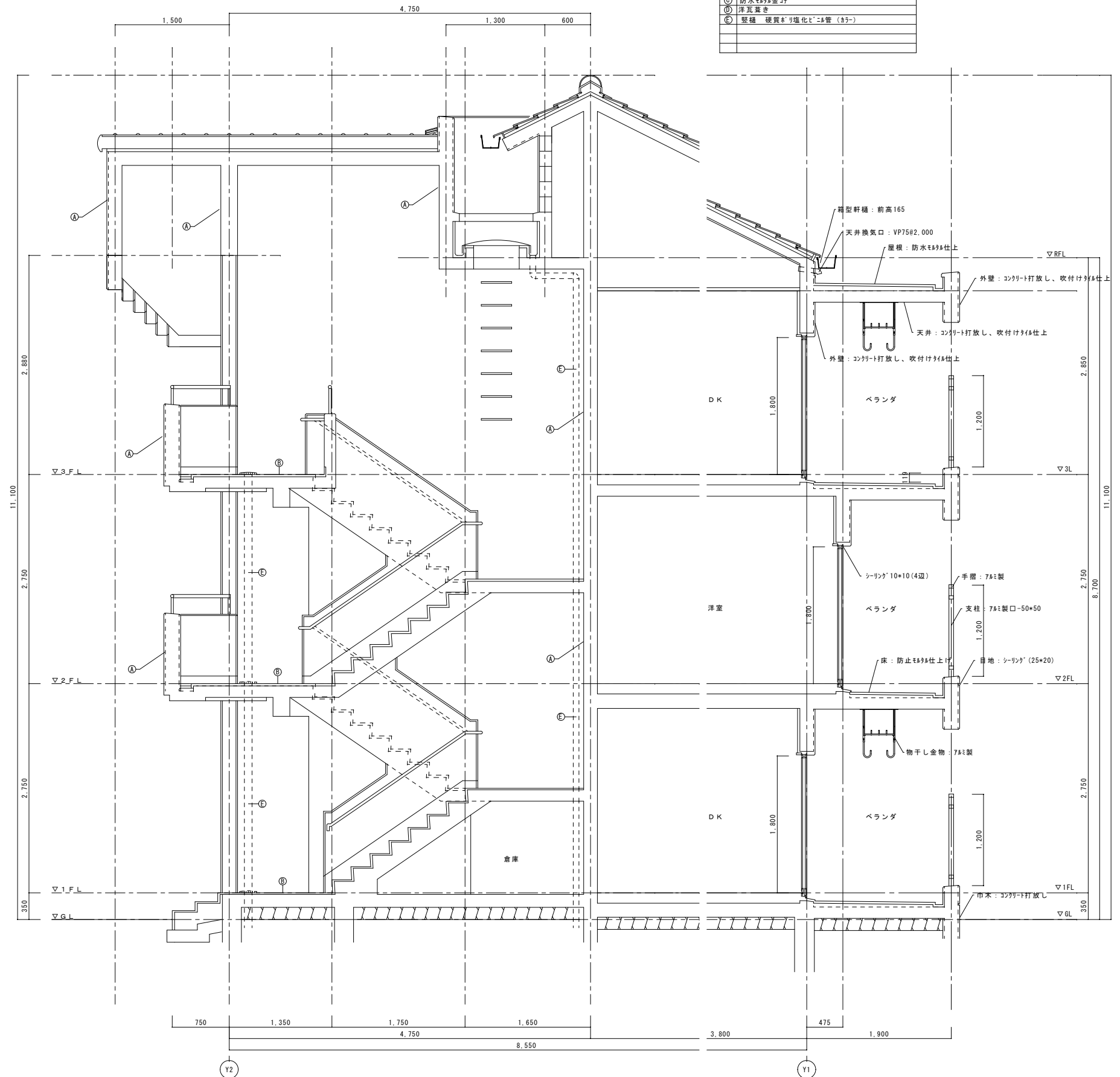
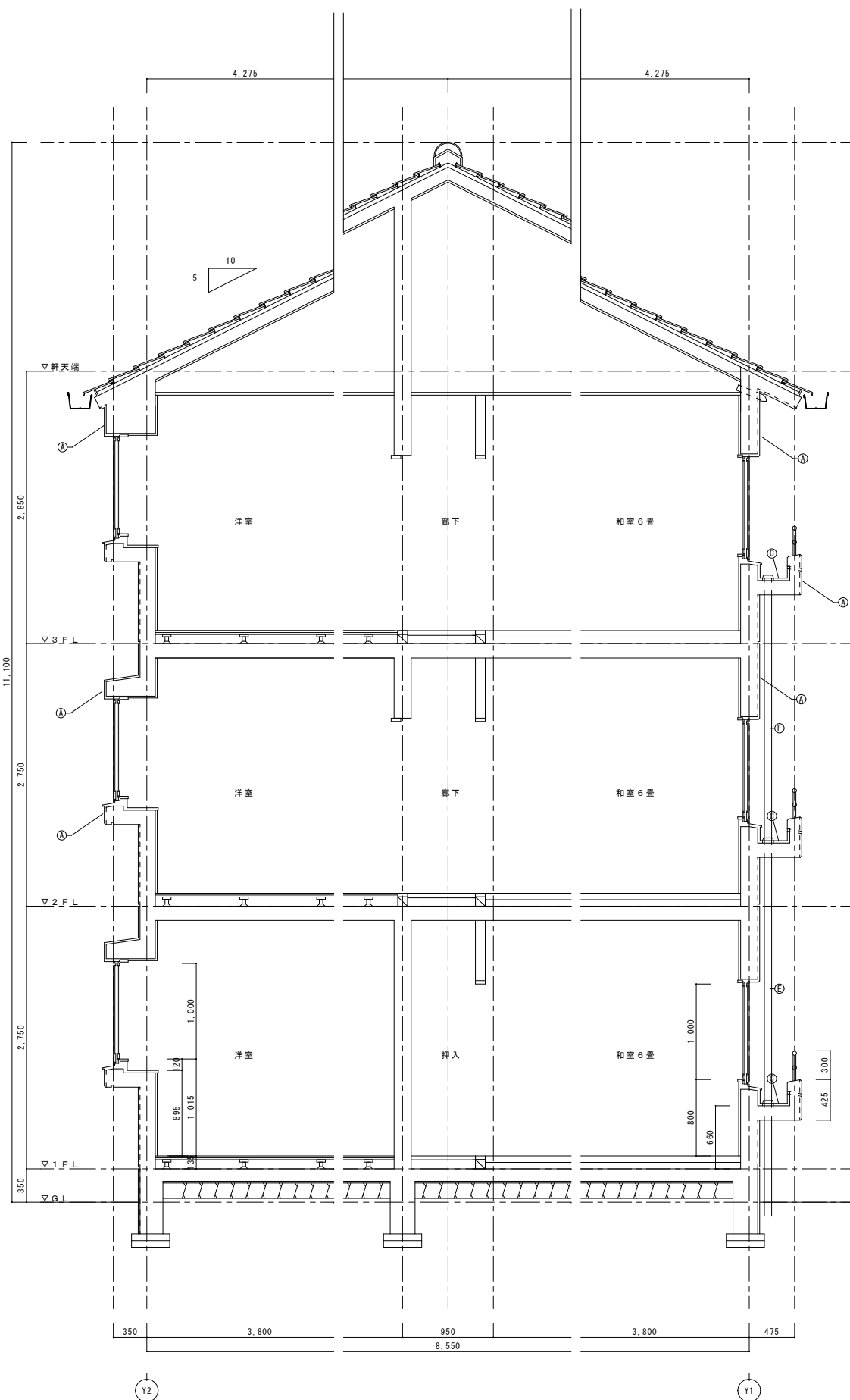
(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所
福岡県知事登録第1-20757号
福岡県行橋市行事8丁目8-10
TEL 0930-26-1101
代表取締役 松尾 真也
一級建築士 大臣登録第223559号

工事名称
令和6年度 小長田団地改修工事(2棟)

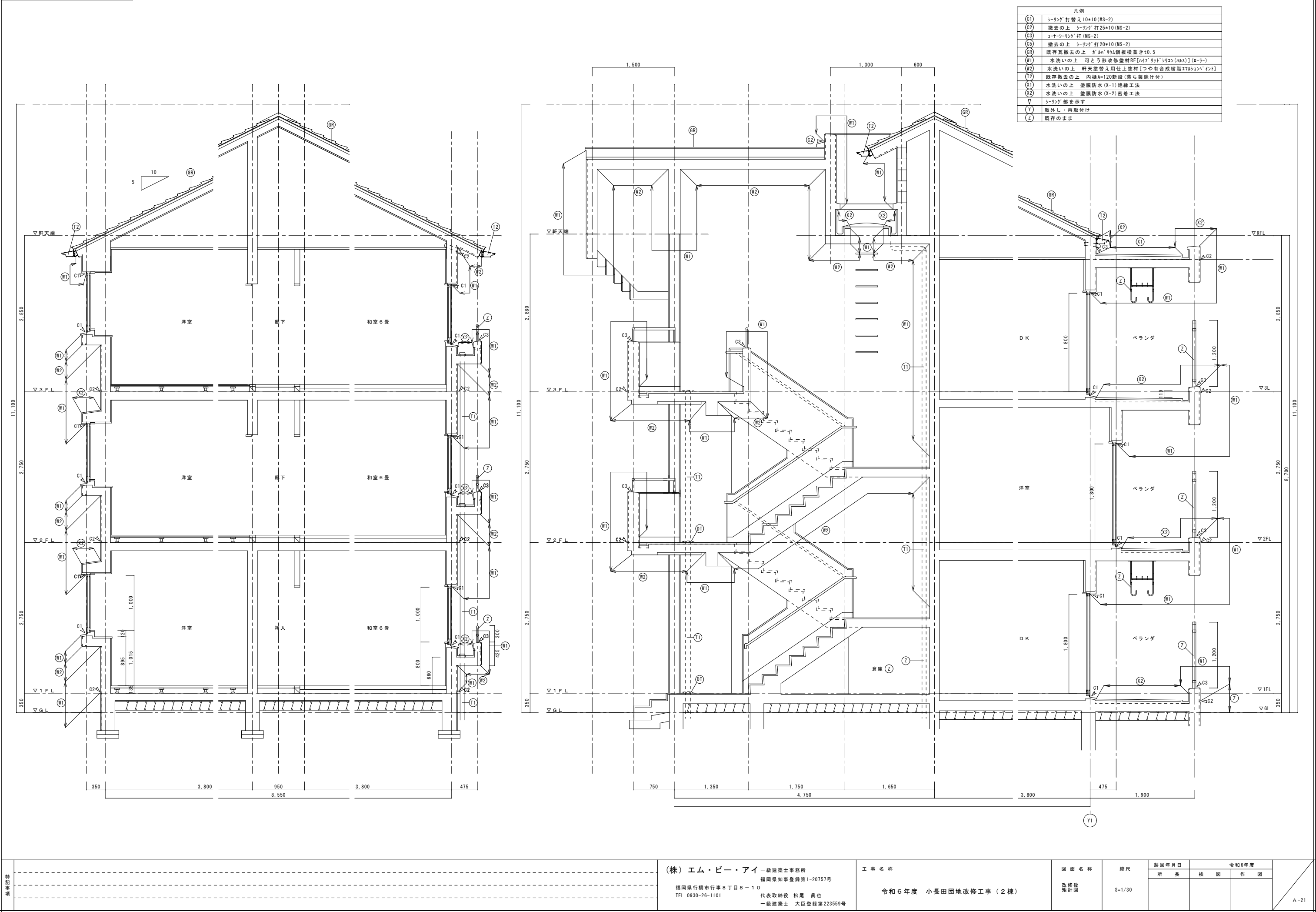
図面名称
改修後
階段室 展開図

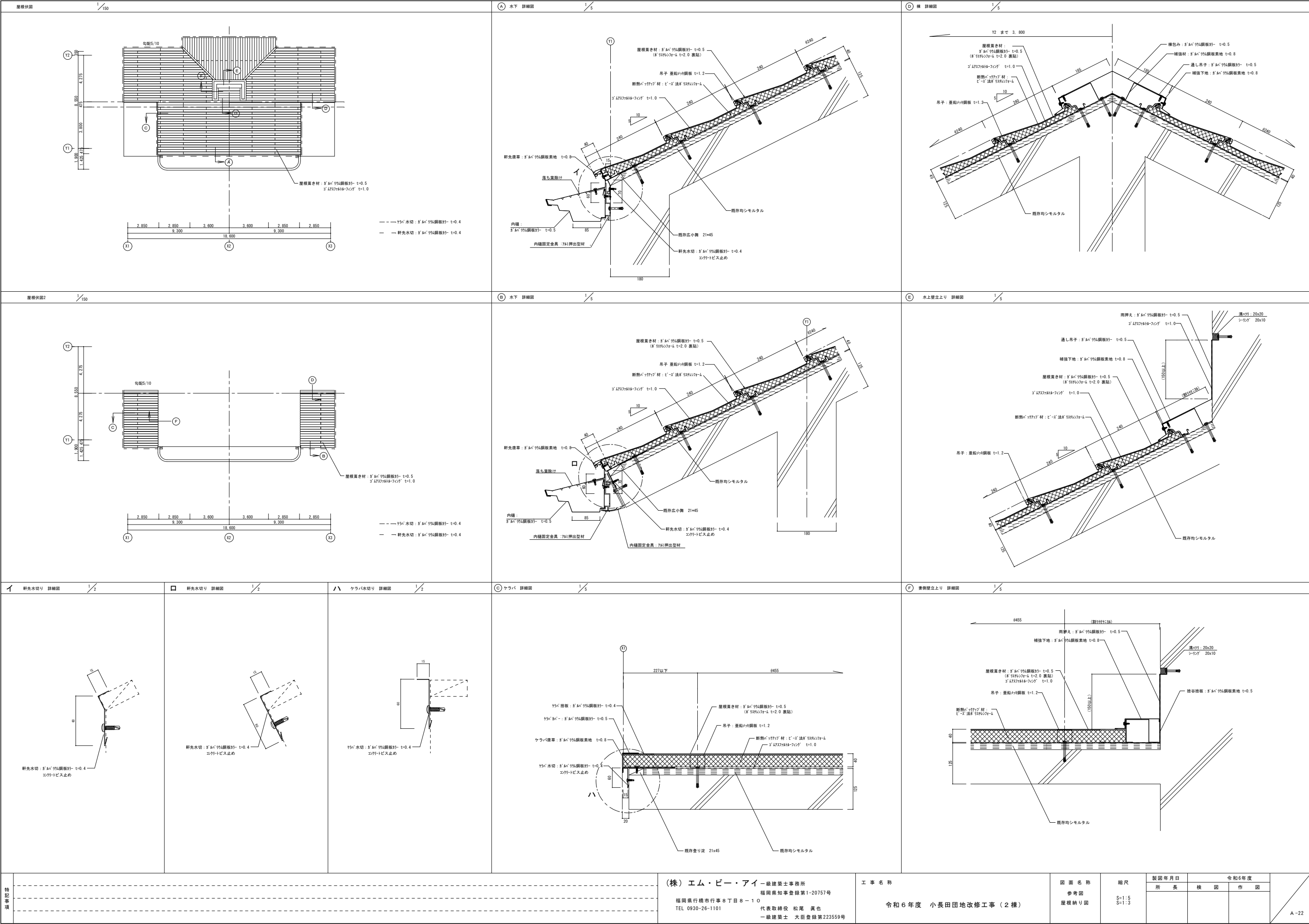
縮尺
S=1/50

製図年月日
令和6年度
所長 検図 作図

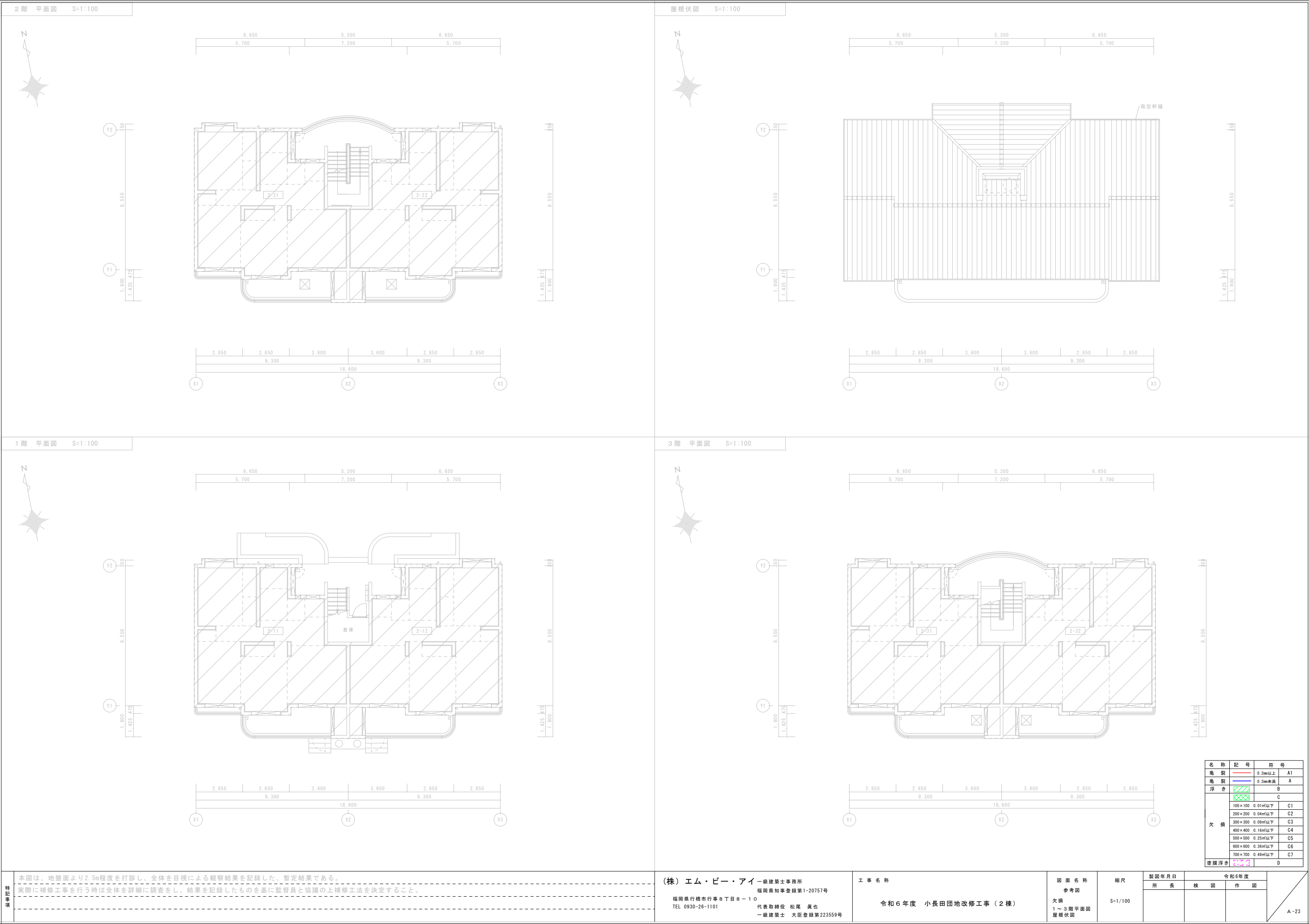


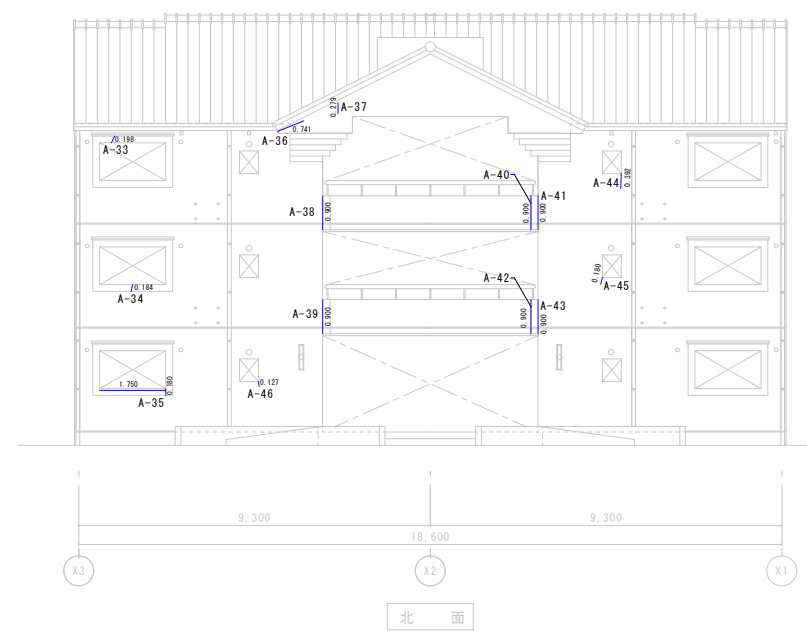
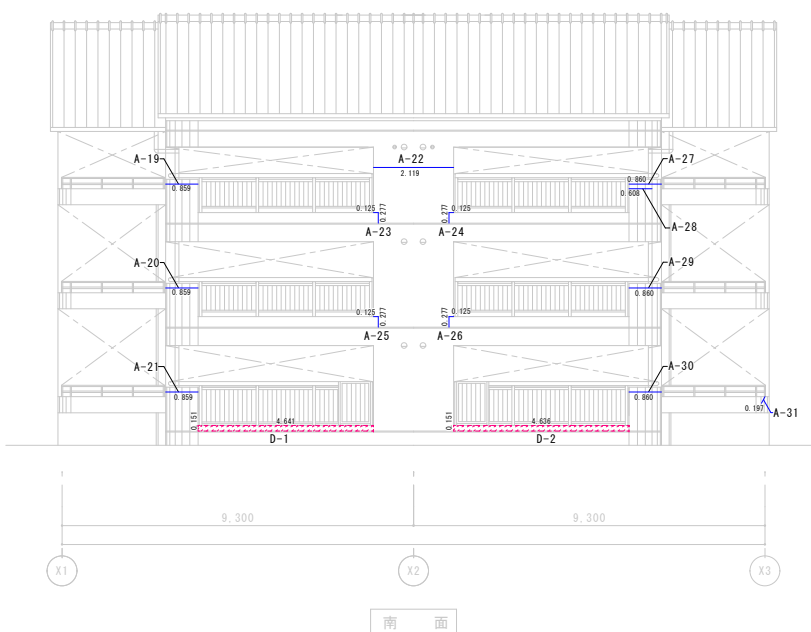
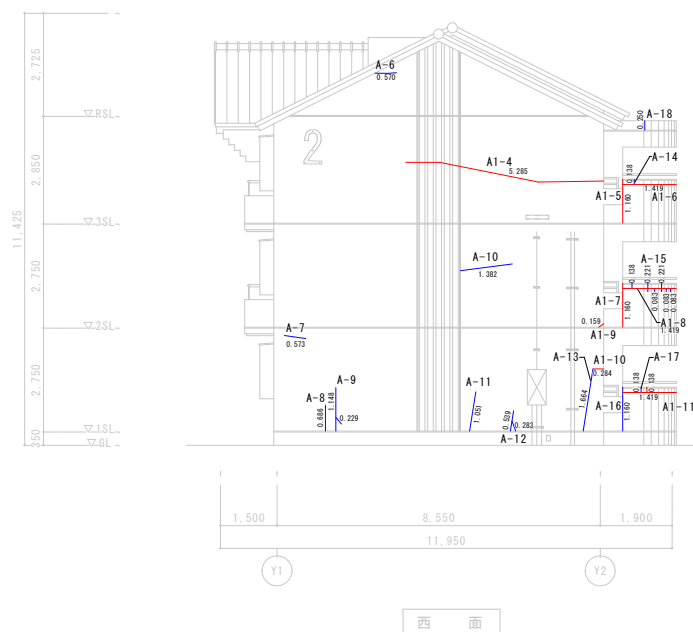
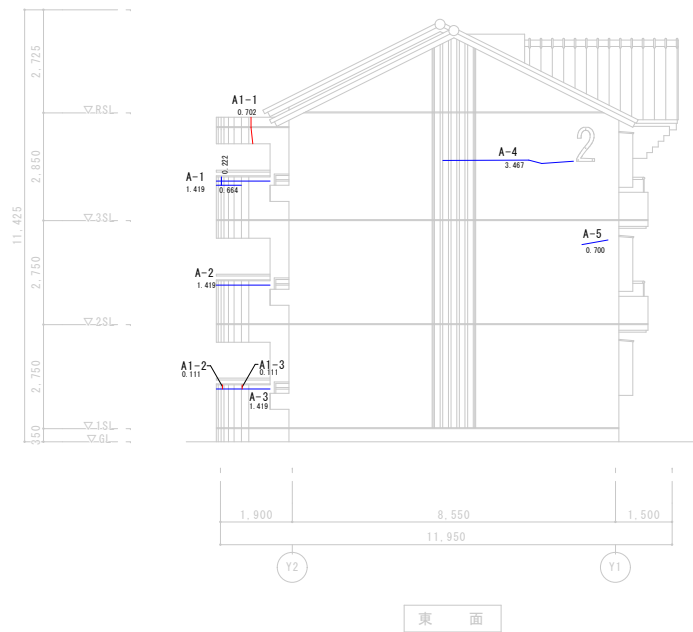
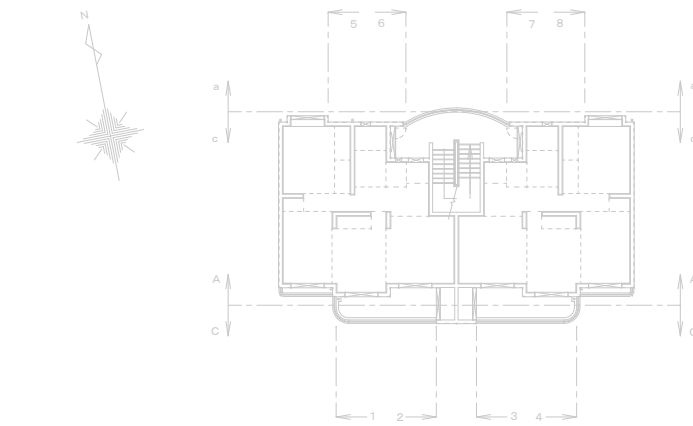
	改修前仕上げ
Ⓐ	コンクリート打放し吹付けタイル
Ⓑ	モルタル金コシ仕上げ
Ⓒ	防水モルタル金コシ
Ⓓ	洋瓦葺き
Ⓔ	壁礎 硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）





特記事項					(株) エム・ピー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県銀行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大匠登録第223559号	工 事 名 称 令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）	図 面 名 称 参考図 屋根納り図	縮 尺 S=1:5 S=1:3	製図年月日		令和6年度		A-22			
									所 長	検 図	作 図					

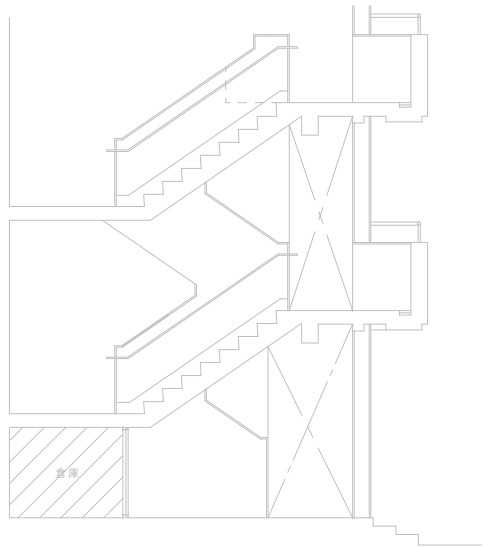
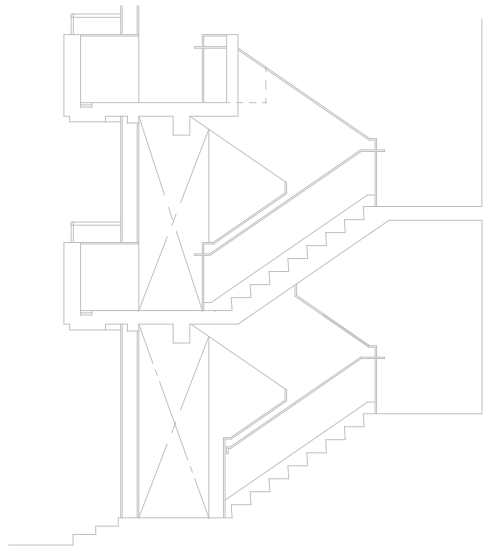
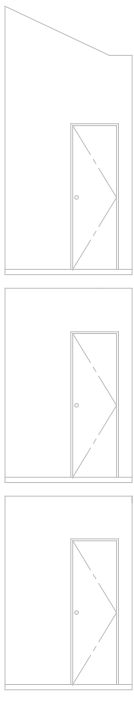
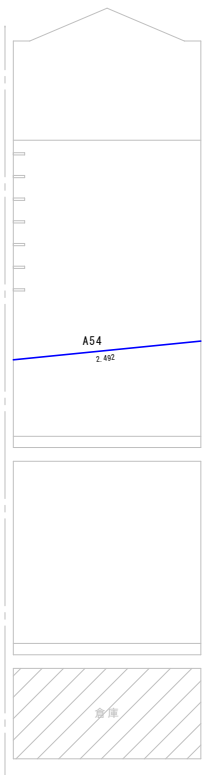
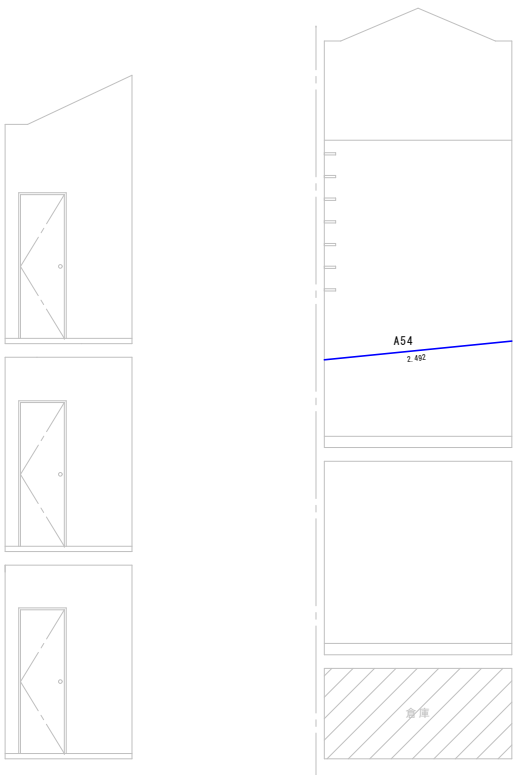
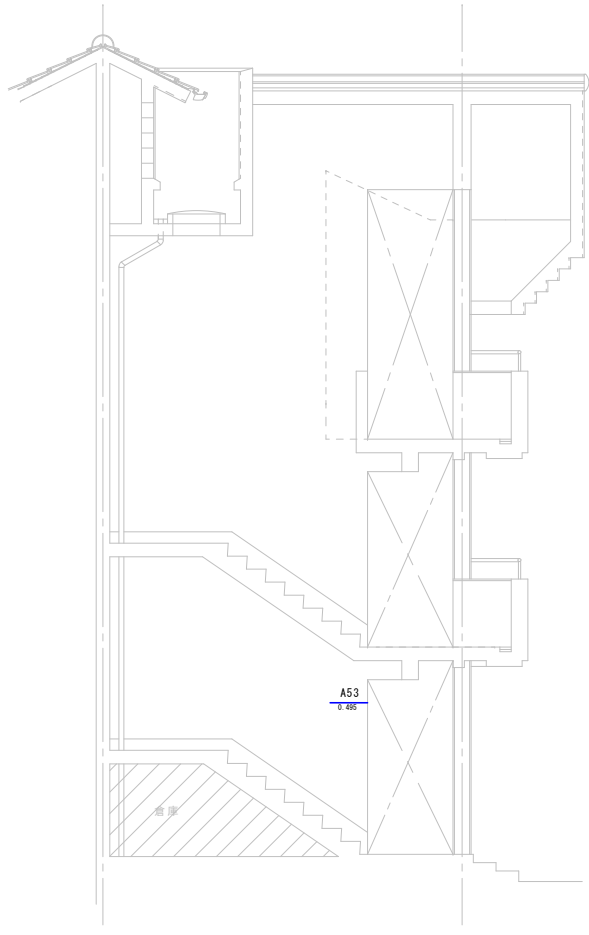
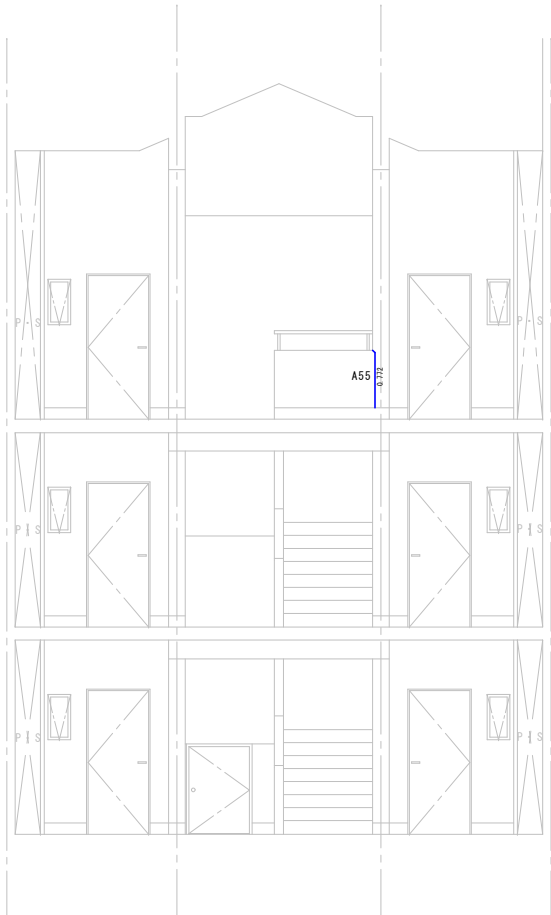
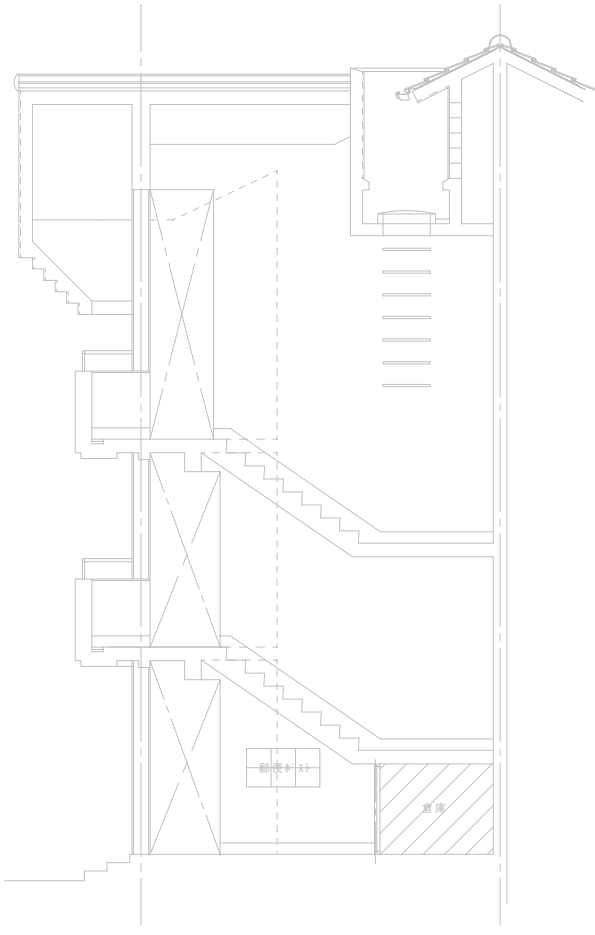
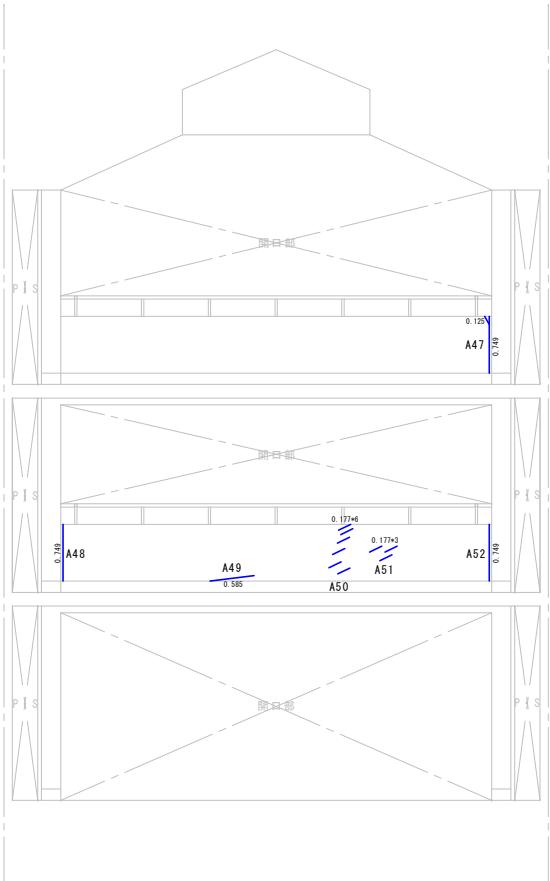




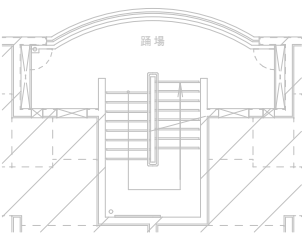
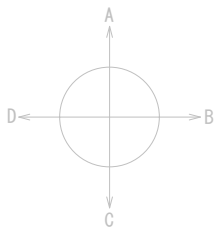
名 称	記 号	符 号
亀 裂		0.2mm以下 A1
亀 裂		0.2mm未満 A
浮 き		B
		C
欠 損	100×100 0.01mm以下	C1
	200×200 0.04mm以下	C2
	300×300 0.09mm以下	C3
	400×400 0.16mm以下	C4
	500×500 0.25mm以下	C5
	600×600 0.36mm以下	C6
	700×700 0.49mm以下	C7
変 形 浮 き		D

特記事項	本図は、地盤面より2.5m程度を打診し、全体を目視による観察結果を記録した、暫定結果である。 実際に補修工事を行う時は全体を詳細に調査をし、結果を記録したものを基に監督員と協議の上補修工法を決定すること。	(株) エム・ピー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行機市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大臣登録第223559号	工 事 名 称 令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）	図 面 名 称 参考図 欠損 東側・南側立面図	縮尺 S=1/100	<table border="1"> <tr> <th>製図年月日</th> <th colspan="2">令和6年度</th> </tr> <tr> <th>所 長</th> <th>検 図</th> <th>作 図</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	製図年月日	令和6年度		所 長	検 図	作 図				A-24
	製図年月日	令和6年度														
	所 長	検 図	作 図													





名 称	記 号	符 号
亀 裂	0.2mm以上	A1
亀 裂	0.2mm未満	A
浮 き		B
欠 損		C
	100 × 100 0.01㎡以下	C1
	200 × 200 0.04㎡以下	C2
	300 × 300 0.09㎡以下	C3
	400 × 400 0.16㎡以下	C4
	500 × 500 0.25㎡以下	C5
	600 × 600 0.36㎡以下	C6
塗膜厚 剥 離	0.45mm以下	C7
塗膜厚 剥 離		D



外壁調査 数量集計表											
外部	浮き	浮き	ひび割れ	ひび割れ	欠損	欠損	欠損	欠損	欠損	欠損	塗膜浮き
	一般部分	幅木	0.2未満	0.2以上	C1	C2	C3	C4	C5	C6	D
	m	m	m	m	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	ヶ所	m
東面			9.310	0.924							
西面			10.640	12.305							
南面			10.169								1.401
南面天井			1.752								2.196
北面			9.431								
北面天井											0.250
階段室			8.309								
集計			49.611	13.229							3.846
前回集計											
集計+前回											

東面					外壁	
ひび割れ		A		O. 2mm未満		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
1	0.222					
1	1.419					
1	0.664					
2	1.419					
3	1.419					
4	3.467					
5	0.700					
計	9.310		0.00		0.00	
小計					9.310	

西面					外壁	
ひび割れ		A		O. 2mm未満		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
6	0.570	13	1.664	17	0.138	
7	0.573	14	0.138	18	0.250	
8	0.686	15	0.138			
9	1.148	15	0.221			
9	0.229	15	0.221			
10	1.382	15	0.083			
11	1.051	15	0.083			
12	0.539	15	0.083			
12	0.283	16	1.160			
計	6.461		3.791		0.390	
小計					10.640	

南面					外壁	
ひび割れ		A		O. 2mm未満		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
19	0.859	25	0.277	32	0.260	
20	0.859	26	0.125			
21	0.859	26	0.277			
22	2.119	27	0.860			
23	0.125	28	0.608			
23	0.277	29	0.860			
24	0.125	30	0.860			
24	0.277	31	0.197			
25	0.125	32	0.220			
計	5.625		4.284		0.260	
小計					10.169	

北面					外壁	
ひび割れ		A		O. 2mm未満		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
33	0.198	41	0.900			
34	0.184	42	0.900			
35	1.750	43	0.900			
35	0.180	44	0.392			
36	0.741	45	0.180			
37	0.279	46	0.127			
38	0.900					
39	0.900					
40	0.900					
計	6.032		3.399		0.00	
小計					9.431	

階段室						
ひび割れ		A		O. 2mm未満		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
47	0.125	50	0.177			
47	0.749	51	0.177			
48	0.749	51	0.177			
49	0.585	51	0.177			
50	0.177	52	0.749			
50	0.177	53	0.495			
50	0.177	54	2.492			
50	0.177	55	0.772			
50	0.177					
計	3.093		5.220		0.00	
小計					8.309	

東面					外壁	
ひび割れ		A1		O. 2mm以上		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
1	0.702					
2	0.111					
3	0.111					
計	0.924		0.00		0.00	
小計					0.924	

西面					外壁	
ひび割れ		A1		O. 2mm以上		
番号	長さ	番号	長さ	番号	長さ	
4	5.285					
5	1.160					
6	1.419					
7	1.160					
8	1.419					
9	0.159					
10	0.284					
11	1.419					
計	12.305		0.00		0.00	
小計					12.305	

南面					外壁	
塗膜浮き		アスベスト含有				
番号	縦	横	符号	面積	備考	
1	0.151	4.641	D-1	0.701		
2	0.151	4.636	D-2	0.700		
計				1.401		
小計				1.401		

南面					天井	
塗膜浮き		アスベスト含有				
番号	縦	横	符号	面積	備考	
3	0.500	0.500	D-3	0.250	1Fﾊﾞﾗﾝｼﾞ	
4	0.500	0.500	D-4	0.250	2Fﾊﾞﾗﾝｼﾞ	
5	0.500	0.500	D-5	0.250	3Fﾊﾞﾗﾝｼﾞ	
6	2.891	0.500	E-14	1.446	3Fﾊﾞﾗﾝｼﾞ	
計				2.196		
小計				2.196		

北面					天井	
塗膜浮き		アスベスト含有				
番号	縦	横	符号	面積	備考	
7	0.500	0.500	D-7	0.250	2F階段室	
計				0.250		
小計				0.250		

電気設備工事特記仕様書

I. 工事名称 令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）

II. 工事概要

1. 総合発注の有無 本工事は、以下の工事を含む。（詳細は、図面参照のこと）

・ 建築工事

・ 機械設備工事

2. 工事場所 福岡県京都郡みやこ町勝山黒田（小長田団地 内）

3. 建物概要

建物名	称構造	階数	延面積（㎡）	防火対象物の種別	備考
町営住宅	RC	3	487.74	五項（ロ）	

4. 工事種目（○印を付けたものを適用する）

工事種目	建物別	工事種別				
		階段室			屋外	備考
○電灯設備	改修	一式	一式	一式	改修 一式	
・ 動力設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 避雷設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 受変電設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 静止形電源設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 発電設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 構内情報通信網設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 構内交換設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 情報表示設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 映像・音響設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 拡声設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 誘導支援設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 呼出し設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ テレビ共同受信設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 防犯設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 自動火災報知設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 中央監視制御設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 遠隔量水器設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ デマンド監視・制御設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 太陽光発電設備	一式	一式	一式	一式	一式	
・	一式	一式	一式	一式	一式	
・ 構内配電線路	一式	一式	一式	一式	一式	一式
・ 構内通信線路	一式	一式	一式	一式	一式	一式
・	一式	一式	一式	一式	一式	

III. 工事仕様

1 適用仕様等図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

（1）「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（2）「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（3）「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（4）「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（5）「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（6）「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（7）「公共住宅建設工事共通仕様書（平成25年版）」 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、発注者と協議すること。

2 補足基準等適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

（1）「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修

（2）「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修

（3）「建築工事標準詳細図（建築工事編 平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修

（4）「電気設備工事監理指針（平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（5）「機械設備工事監理指針（平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（6）「建築工事監理指針（平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（7）「建築改修工事監理指針（平成28年版）」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

（8）「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」 独立行政法人 建築研究所監修

（9）「建築工事安全施工技術指針・同解説」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修

（10）「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局

（11）「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」 環境省大気保全局（環境省アスベスト飛散防止対策研究会）

（12）「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部編集

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、発注者と協議すること。

3 特記仕様

（1）項目は、○印のついたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は、○印のついたものを適用する。

項 目

特 記 事 項

① 機 材この工事に使用する機材は、監督職員の承認を受ける。

なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。

また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。

② 電 気 工 作 物・ 一般用電気工作物 ○ 事業用電気工作物

③ 電 気 保 安 技 術者 事業用電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。

④ 工事に必要な資格（建築業法に関するものを除く）

・ 第1種電気工事士 ○ 第2種電気工事士（もしくは上位資格）

・ 特種電気工事資格者（非常用予備発電装置）

・ 工事担任者 第 1 種（もしくは上位資格）

・ 消防設備士甲種 類

・ あと施工アンカー第 1 種施工士（もしくは上位資格）

この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。

⑤ 官公庁その他への手続等

⑥ 工 事 用 電 力 ・ 水その他

⑦ 残 土 処 分・ 構内指示の場所に敷均し

・ 構内指示の場所に堆積 ○ 構外搬出適切処理

⑧ 他工事との取合い・ 施工区分表による ○ 図面詳細による

⑨ 再 使 用 機 器

⑩ 耐 震 施 工

11. 合成樹脂製可とう電線管

12. プレートの材質

13. フロアプレート

14. ハイテンション

15. 露出配管等の塗装

16. 呼 び 線

17. 表 示

18. 地中線埋設シート

19. 地 中 埋 設 機

20. 地 中 埋 設 配 管（GL＝600の場合）

・ 根切り深さが1.5m未満の場合は直掘工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。

法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。

・ 床掘幅は、埋設管類などの外径（底面）の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。

ゆとり幅（a）及び埋設管相互の間隔（b）は、下表を参照のこと。

ゆとり幅（a）	根切り深さ1m未満	根切り深さ1以上1.5m未満	根切り深さ1.5m以上	埋設管の呼び径（左右・上下）
地 中 電 線 管	20. 2m	0. 4m	0. 3m	50以下 50mm 150 〃 70mm 200 〃 100mm
地 下 埋 設 物	0. 5m	0. 5m	0. 5m	

21. 接 地 極

22. 構 内 交 換 設 備

23. 電 話 機 へ の 配 線

24. 構内情報通信網設備

25. LANケーブルの色

26. 機器と配線の接続

27. インターロック

28. ガス漏れ警報装置

29. ガス漏れ警報装置

30. 防犯設備工事範囲

31. 躯体貫通場所

32. 発電機回路コンセント

33. マンホール

34. ブルボックス

強電配線・弱電配線・その他配管等について、定められた間隔を考慮すること。

多条敷設により埋設管同士を密着させる場合は、「JIS C 3653（附属書含む）」及び「電気設備に関する技術基準を定める省令」における関連事項に適合した資材の使用、及び施工を行うこと。

また、電線相互の接近により誘導障害が生じるおそれがある場合は、多条敷設は行わないこと。

接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地極埋設機90×140×1. 5t（黄銅製・刻印）を設置すること。なお、接地棒 EB（14）φ の長さは1,500mm以上とし、10φ・14φは、W＝40として差し支えない。

接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同	E A-C-D	Ω以下	
・ 共 同	E A-D	Ω以下	
・ A 種	E A	10Ω以下	
・ B 種	E B	Ω以下	
・ C 種	E C	10Ω以下	
・ D 種	E D	100Ω以下	E B（ ）φ × 1 (L≧1,500mm)
・ 避 雷 設 備	E L	10Ω以下	
・ 高 圧 避 雷 器	E L H	10Ω以下	
・ 低 圧 避 雷 器	E L L	10Ω以下	
・ 交 換 機 用	E t	10Ω以下	
・ 通 信 用	E A t	10Ω以下	
・ 通 信 用	E G t	100Ω以下	E B（10）φ × 1 (L≧1,500mm)
・ 測 定 用	E 0		E B（10）φ × 1 (L≧1,500mm)

避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。

本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。

・ 構内交換装置

・ 電話機取付け（台）

・ 配管配線まで本工事

・ 配管のみ本工事

・ 配線のみ本工事

電話機1台につき次のものを見込む。

・ T1VF（T1VE） 0. 65-20 m

・ EM-T1EF（T1EE） 0. 65-20 m

・ EBT 0. 4-2P m

・ EM-BT1EE 0. 4-2P m

・ 2号ワイヤプロテクタ m

本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。

・ 構内情報通信網装置

・ ネットワーク管理装置

・ 配管配線まで本工事

・ 配管のみ本工事

・ 幹線LAN：赤色

・ 校務LAN：黄色

・ 生徒LAN：水色

・ 認証ネットワーク：指定なし

・ その他：指定なし

拡声設備において、増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。

自動火災報知設備において、感知器が作動した場合に受信機及び運動制御機と連動して空調機並びに送排風機を停止させる。

・ 単 独（ ・ 自立形

・ 壁掛形 ）

・ 液化石油ガス用

・ 都市ガス用

・ 配管のみ本工事

・ 機器取付調整まで本工事

躯体貫通箇所においては探索機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。

発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。

蓋中央部に県章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。

屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。

35. そ の 他

36. 建築副産物の処理について

資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。

また、「再生资源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として、再資源化施設へ持込むもの）

その他の副産物

・ が れ き 類（コンクリート塊）（アスファルト コンクリート塊）

・ 木 く ず

・ 建 設 発 生 土

・ 汚 泥

○廃 プ ラ ス チ ッ ク

○ガラス・陶磁器くず

・ 廃 石 こ う ボ ー ド

○金 属 く ず

・ 織 維 く ず

特別管理産業廃棄物

・ 廃 石 綿 等

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」（環境省大気保全局）に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

○廃 P C B 等（使用が認められた場合）

「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※ 参考受入場所は、現場説明書による。

建築副産物の処理内容

処 理 内 容	備 考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分	
「建設副産物の処置計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生资源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生资源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

令和 6 年 月 日

工事名称 令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）

特 記 仕 様 書

工事場所 福岡県京都郡みやこ町勝山黒田（小長田団地 内）

図 番 E－01

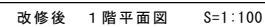
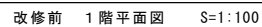
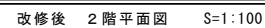
設計者 1級建築士登録第 223559 号 建築設備士第 号

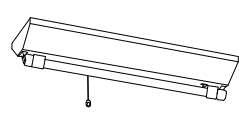
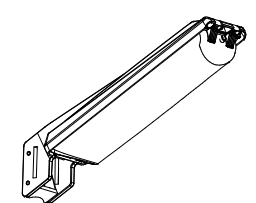
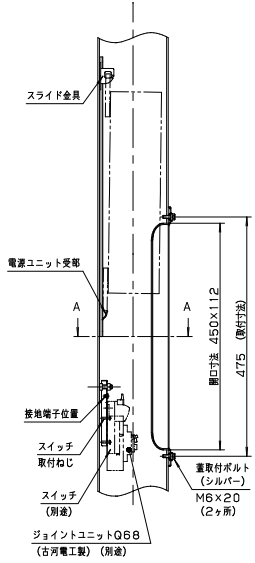
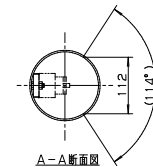
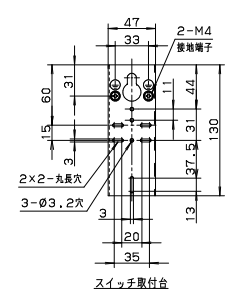
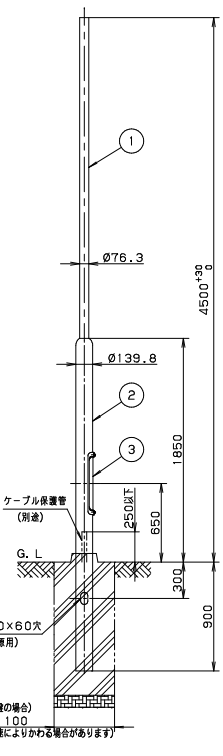
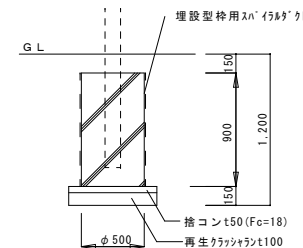
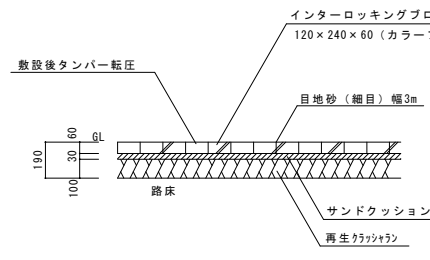
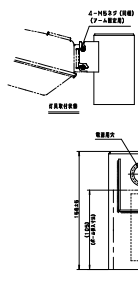
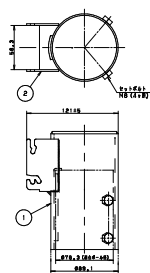
氏 氏 代表取締役 松尾 廣也

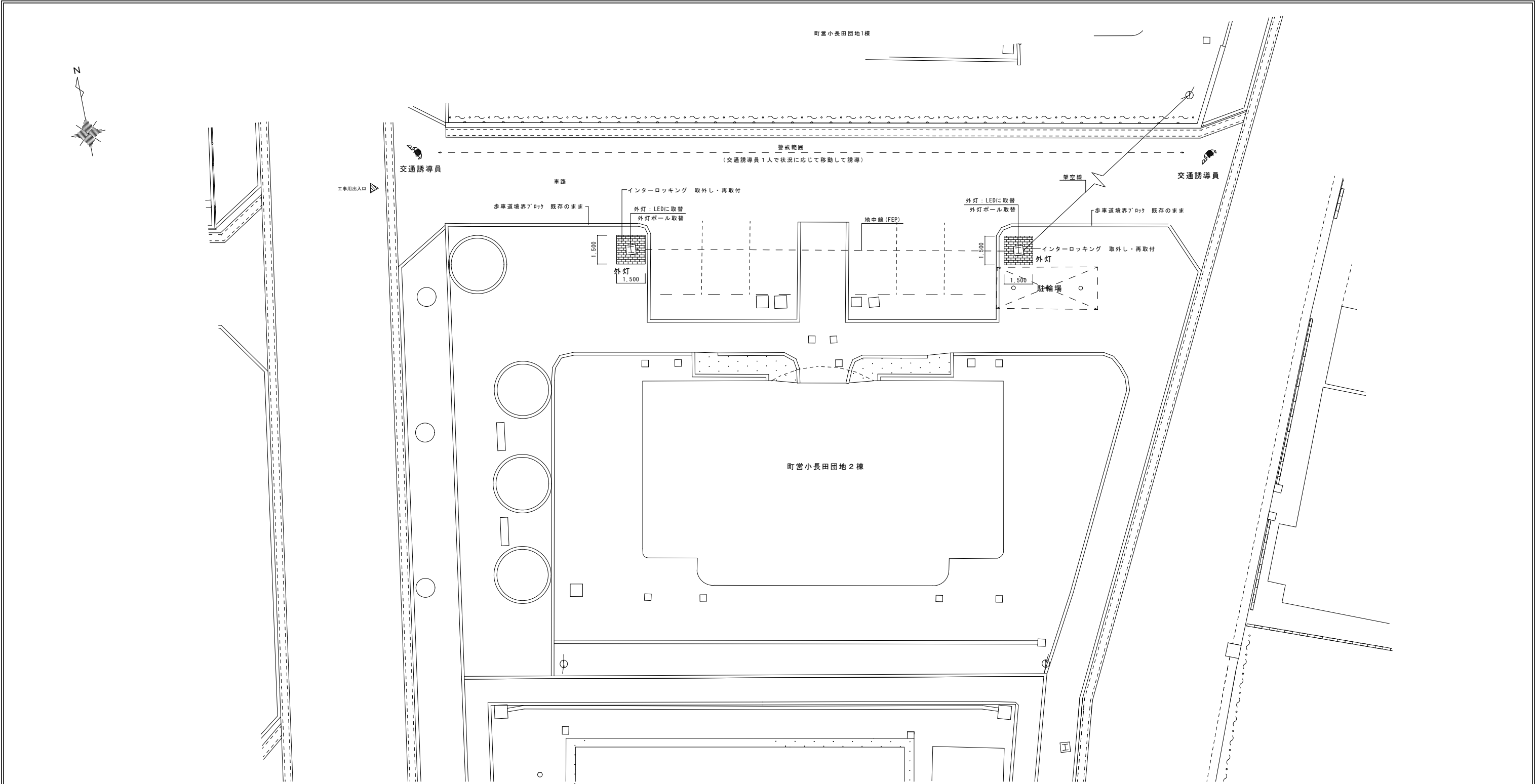
事業所名 株式会社エム・ビー・アイ

及び所在地 行橋市行事 8丁目 8－10

改修前 2階平面図 S=1:100



直管LEDランプ 富士型防水非常灯用1200lm		5 個	LEDウォールライト 20形 FL20形×1灯器具相当		2 個	防犯灯 蛍光灯FHP32形相当		2 個																																												
 防湿型・防雨型 ランプ同梱、電源ユニット内蔵、ガラス管採用、FL20形器具相当 非常時：620lm点灯 本体：亜鉛銅板（クロムフリー）、反射板：亜鉛銅板（クロムフリー・高反射白色粉末塗装） 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素蓄電池 非常灯認定番号：LALD-007 点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） パナソニック NWFG21002LE9 東芝ライテック LEKTSW212164N-LS9 岩崎電気 ELAV20811NPN9 以上同等品			 LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束990lm、消費電力10W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23 パナソニック NNFW21800KLE9 東芝ライテック CO-2180 LDM20SSN/10/10-01 以上同等品			 LED内蔵、電源ユニット内蔵、防まつ型、明るさセンサ内蔵、明光色 光束1100lm、消費電力9W、電圧100V 昼白色、5500K、Ra80、光源寿命60000時間（光束維持率80%） 本体：アルミダイカスト（クールホワイト） 前面パネル：アクリル 保護等級：IP44、雷サージ15kV 電力会社申請入力容量9.2VA パナソニック NNY20378LE1 東芝ライテック LEDK78930NP-LS1 岩崎電気 E70073SAN9/DB 以上同等品																																														
一般埋込式ボール		S=1:30	2 個	外灯ボール基礎・インターロッキングブロック舗装（再使用する）		S=1:20	外灯 ボールヘッド用アーム（1灯用）		S=1:5	2 組																																										
パナソニック DYDX3400 東芝ライテック PD-45-525W-21 岩崎電気 PM5030-4509/A24 以上同等品     ボール内蔵可能電源ユニット 108×111×470 (幅) (高さ) (全高) 以下 1台 《電源ユニット取付方法》 1、電源ユニットの上端をスライド金具に引っ掛ける。 2、上方にスライドさせる。 3、電源ユニット受部に電源ユニットの下側をのせる。 ボール内蔵可能スイッチ 15A 2P用 1個 または ジョイントユニットQ68 (古河電工製) FEQ68-15A、FMQ68-15A 器具質量 45.0kg 特記事項 <table><tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>蓋</td><td>鋼板(11.6)</td><td>錆止塗装</td></tr><tr><td>2</td><td>下管柱</td><td>電管(φ30.8)</td><td>錆止塗装</td></tr><tr><td>1</td><td>上管柱</td><td>電管(φ30.8)</td><td>錆止塗装</td></tr></table> 部 品 名 材質・素材厚 備 考 品番 (7-4) DYDX3400 図番 DYDX3400-K 林 田 単位:mm 第三角法 パナソニック株式会社 参考コンクリート基礎 コンクリート Fc=21.0N/m2 SL15  コンクリート基礎（標準的な地盤の場合） 幅（内または外）500×高さ1100 （材質等の組み合わせ、設計風速によりかわる場合があります）			5				4				3	蓋	鋼板(11.6)	錆止塗装	2	下管柱	電管(φ30.8)	錆止塗装	1	上管柱	電管(φ30.8)	錆止塗装	 ・コンクリートは呼び強度21N/mm²とする。 ・クラッシュランは再生0～40mmとする。 注記）現地調査の上同等の仕様とすること。			パナソニック DYDX3041 東芝ライテック JAT-1501N FK-75N WIRE-0001 LMT-21881-LS9 岩崎電気 PA730 SFT-N206 SWR001 以上同等品   〈別表〉 <table><tr><td></td><td>処理・仕上げ</td></tr><tr><td>電気圧縮メッキ 前処理後クールホワイト ポリエステル粉体塗装</td><td></td></tr></table> マンセル値 クールホワイト マンセル 10Y9/0.5 器具質量 1.6kg 特記事項 <table><tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>フッティング</td><td>EPTゴム</td><td>黒</td></tr><tr><td>2</td><td>アーム</td><td>鋼板(12.3)</td><td>別表参照</td></tr><tr><td>1</td><td>ボール受</td><td>鋼管(14.2)</td><td>別表参照</td></tr></table> 部 品 名 材質・素材厚 備 考 品番 (7-4) DYDX3041 図番 DYDX3041-K2 林 田 単位:mm 第三角法 パナソニック株式会社				処理・仕上げ	電気圧縮メッキ 前処理後クールホワイト ポリエステル粉体塗装		5				4				3	フッティング	EPTゴム	黒	2	アーム	鋼板(12.3)	別表参照	1	ボール受	鋼管(14.2)	別表参照
5																																																				
4																																																				
3	蓋	鋼板(11.6)	錆止塗装																																																	
2	下管柱	電管(φ30.8)	錆止塗装																																																	
1	上管柱	電管(φ30.8)	錆止塗装																																																	
	処理・仕上げ																																																			
電気圧縮メッキ 前処理後クールホワイト ポリエステル粉体塗装																																																				
5																																																				
4																																																				
3	フッティング	EPTゴム	黒																																																	
2	アーム	鋼板(12.3)	別表参照																																																	
1	ボール受	鋼管(14.2)	別表参照																																																	
特記事項			(株) エム・ピー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大匠登録第223559号			工事名称 令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）			図面名称 参考図 姿図・詳細図		縮尺 S=1/10 S=1/20 S=1/30		製図年月日 所 長 検 図 作 図		令和6年度 作 図		E-04																																			



凡例

-  工事用出入口
-  交通誘導員

外 構 図 S=1:100

特記事項

- ※工事期間中、入居者の安全に努めること。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設管理者、町監督員と協議すること。
- ※敷地内の車両の通行に際しては、最後方とし歩行者の安全に努めること。
- ※工事車両進入退路（資材搬入時）には、必ず交通誘導員を配置し、安全対策に努めること。
- ※基本的には通車・通学の時間帯を避けること。
- ※クレーン使用の際は、安全対策を行う事。（カマコーン等）
- ※騒音が出る作業を行うときは、事前に施設管理者及び町監督員に報告の上作業を行うこと。
- ※工事作業助成が、別発注工事と重複する場合は作業内容及び期間を関係責を交え十分に協議し施工を行うこと。

特記事項		(株) エム・ビー・アイ 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-20757号 福岡県行橋市行事8丁目8-10 TEL 0930-26-1101 代表取締役 松尾 真也 一級建築士 大臣登録第223559号	工 事 名 称 令和6年度 小長田団地改修工事（2棟）	図 画 名 称 外灯配置図	縮 尺 S=1/100	製図年月日	令和6年度		E-05
	所 長					検 図	作 図		